

H24-B14-2 30.44~34.77m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それと変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
123	30.44	30.62	(割れ目状態欄) bランク	30.44	30.62	(割れ目状態欄) bランク	30.44	30.62	(割れ目状態欄) bランク	-
124	30.62	30.72	40°程度の割れ目が3~10cm間隔で発達し、上下位と比べてやや岩質劣化する。	-	-	-	30.62	30.72	30.62~30.72m 傾斜40°程度の割れ目が3~10cm間隔で発達し、上下位と比べてやや岩質劣化する。	-
125	30.76	32.40	(割れ目状態欄) cランク	30.76	32.40	(割れ目状態欄) bランク	30.76	32.40	(割れ目状態欄) bランク	-
126	31.55	31.93	40°と45°以上の密着割れ目が3~5cm間隔で交錯し、コアは片~短柱状を呈する。	31.55	31.93	40°と45°以上の密着割れ目が3~5cm間隔で交錯し、コアは片~短柱状を呈する。	31.55	31.93	31.55~31.93m 傾斜40°と65°以上の密着割れ目が3~4cm間隔で交錯する。	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
127	31.55	31.93	(コアの形状欄) IIIランク	31.55	31.93	(コアの形状欄) IVランク	31.55	31.93	(コアの形状欄) IVランク	-
128	32.15	35.14	(岩縞区分欄) CL	32.15	35.14	(岩縞区分欄) CM	32.15	35.14	(岩縞区分欄) CM	-
129	32.40	32.67	250~60°の割れ目が1cm間隔で発達し、割れ目沿いに岩質劣化が進行する。一部は岩石組織不明瞭となる。	32.40	32.67	250~60°の割れ目が1cm間隔で発達し、割れ目沿いに岩質劣化が進行する。一部は岩石組織不明瞭となる。	32.40	32.67	32.40~32.67m 傾斜50~60°の割れ目が1cm間隔で発達し、割れ目沿いに岩質劣化が進行。一部は原岩組織不明瞭となる。	-
130	32.49	32.91	(割れ目状態欄) cランク	32.49	32.91	(割れ目状態欄) bランク	32.49	32.91	(割れ目状態欄) bランク	-
131	32.67	32.67	32.67m付近、40~50°の割れ目および不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達し、コアは薄片状を呈する。割れ目沿いに岩質劣化が認められるが、岩片は硬質である。	32.67	32.67	32.67m付近、40~50°の割れ目および不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達し、コアは薄片状を呈する。割れ目沿いに岩質劣化が認められるが、岩片はやや硬質である。	32.67	32.67	32.67m付近、傾斜40~50°の割れ目及び不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達し、岩片状を呈する。割れ目沿いに岩質劣化が認められるが、岩片はやや硬質である。	-
132	32.67	32.91	上下位と比べて割れ目間隔が広く、コアは片~短柱状を呈する。	32.67	32.91	上下位と比べて割れ目間隔が広く、コアは片~短柱状を呈する。	-	-	-	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
133	32.91	33.01	不規則網目状に割れ目が発達する。	32.91	33.01	不規則網目状に割れ目が発達する。	32.91	33.01	32.91~33.01m 不規則で網目状に割れ目が発達する。	-
134	33.01	33.10	(コアの形状欄) IVランク (コアの硬さ欄) bランク (風化欄) γランク	33.01	33.10	(コアの形状欄) Vランク (コアの硬さ欄) cランク (風化欄) δランク	33.01	33.10	(コアの形状欄) Vランク (コアの硬さ欄) cランク (風化欄) δランク	-
135	33.01	35.14	硬質片状~短柱状コアを主体とする。250~60°の割れ目が3~6cm間隔で発達するほか、45°以上の高角度割れ目が30~60cm間隔で発達する。一部割れ目沿いに岩質劣化し、細塊状を呈するところもある。	33.01	35.14	硬質で短柱状コアを主体とする。250~60°の割れ目が3~6cm間隔で発達するほか、45°以上の高角度割れ目も見られる。一部割れ目沿いに岩質劣化し、細塊状を呈するところもある。	33.01	35.14	33.01~35.14m 傾斜50~60°の割れ目が3~6cm間隔で発達するほか、傾斜75°以上の高角度割れ目も見られる。一部割れ目沿いに細塊状を呈する。	記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない
136	33.10	34.46	(割れ目状態欄) cランク	33.10	34.46	(割れ目状態欄) bランク	33.10	34.46	(割れ目状態欄) bランク	-
137	33.72	33.72	250°の割れ目に黄白色シルト質砂が付着する。コア採取時に大半を流失し、詳細は不明。	33.72	33.72	250°の割れ目に黄白色シルト質砂が付着する。コア採取時に大半を流失し、詳細は不明。	33.72	33.72	33.72m 傾斜50°の割れ目に黄白色シルト質砂が付着する。コア採取時に大半を流失し、詳細は不明である。	-
138	34.20	34.46	割れ目間隔密となり、コアは1~5cmの薄片状を呈する。割れ目面には酸化汚染とともにマンガンが付着が認められる。カリ長石は黄緑~白濁する。	34.20	34.46	割れ目間隔が狭くなり、コアは1~5cmの薄片状を呈する。割れ目面には酸化汚染とともにマンガンの付着が認められる。カリ長石は黄緑~白濁する。	34.20	34.46	34.20~34.46m 割れ目間隔が狭くなり、径1~5cmの薄片状を呈する。割れ目面には酸化汚染とともにマンガンの付着が認められる。カリ長石は黄緑~白濁する。	-
139	34.32	34.46	(風化欄) γランク	34.32	34.46	(風化欄) γランク	34.32	34.46	(風化欄) γランク	-
140	34.46	34.73	(コアの形状欄) IIIランク	34.46	34.73	(コアの形状欄) IVランク	34.46	34.73	(コアの形状欄) IVランク	-
141	34.77	34.77	巾5~12mm、40°程度の黄緑~灰白色粘土混じり砂。(みかけ連断層)。	34.77	34.77	巾5~12mm、40°程度の黄緑~灰白色粘土混じり砂。(みかけ連断層)。砂は上端側の割れ目に入っている。砂を挟む割れ目の周辺岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	34.77	34.77	34.77m 傾斜60°で巾5~12mmの黄緑~灰白色粘土混じり砂を挟む。砂は上端側の割れ目に入っている。砂を挟む割れ目の周辺岩壁には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	-

H24-B14-2 34.93~38.27m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
142	34.93	34.93	割れ目沿いに岩質劣化する。岩片にはマンガンが付着する。割れ目のかみ合せが悪い。	-	-	-	34.93	34.93	34.93m 割れ目沿いに岩質劣化する。岩片にはマンガンが付着する。割れ目のかみ合せが悪い。	-
143	34.93	35.00	(コアの形状欄) Wランク	34.93	35.00	(コアの形状欄) Wランク	34.93	35.00	(コアの形状欄) Wランク	-
144	35.00	35.14	(コアの硬さ欄) Cランク	35.00	35.14	(コアの硬さ欄) Bランク	35.00	35.14	(コアの硬さ欄) Bランク	-
145	35.14	35.74	割れ目が不規則網目状に発達し、風化・変質により岩質が劣化する。全体に黄色味を帯びる。	35.14	35.74	割れ目が不規則網目状に発達し、風化・変質により岩質が劣化する。全体に黄色味を帯びる。	35.14	35.74	35.14~35.74m 割れ目が不規則網目状に発達し、風化・変質により岩質が劣化する。全体に黄色味を帯びる。	-
146	35.20	35.50	35.20~35.50m間は、不規則に劣化部が分布し、コアは砂礫~片状を呈する。	35.20	35.50	35.20~35.50m間は、不規則に劣化部が分布し、コアは砂礫~片状を呈する。	35.20	35.50	35.20~35.50m 不規則に劣化部が分布し、コアは砂礫~片状を呈する。	-
147	35.59	35.59	巾1~3mm、 $\angle 50^\circ$ 、黄褐~黄白粘土混じり砂。下盤側にマンガン汚染が目立つ。	35.59	35.59	幅1~3mm、 $\angle 50^\circ$ 、黄褐~黄灰色粘土混じり砂を挟む。下盤側にマンガン汚染が目立つ。	35.59	35.59	35.59m 傾斜 50° で幅1~3mmの黄褐~黄灰色粘土混じり砂を挟む。下盤側にマンガン汚染が目立つ。	-
148	35.64	35.91	密着網目割れ目に沿って酸化汚染が広がる。	-	-	-	35.64	35.91	35.64~35.91m 密着した網目割れ目に沿って酸化汚染が広がる。	-
149	35.88	36.09	35.88~36.09m 密着割れ目沿いの酸化汚染は認められるが、コアは硬質短柱状を呈する。	35.88	36.09	35.88~36.09m 密着割れ目沿いの酸化汚染は認められるが、コアはやや硬質で短柱状を呈する。	35.88	36.09	35.88~36.09m 密着割れ目沿いの酸化汚染が認められる。 *記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない	
150	36.00	37.52	(割れ目状態欄) Cランク	36.00	37.52	(割れ目状態欄) Bランク	36.00	37.52	(割れ目状態欄) Bランク	-
151	36.09	36.43	$\angle 40\sim 50^\circ$ の割れ目が5~10cm間隔で発達。コアは硬質短柱状を呈する。	36.09	36.43	$\angle 40\sim 50^\circ$ の割れ目が5~10cm間隔で発達。コアはやや硬質で短柱状を呈する。	36.09	36.43	36.09~36.43m 傾斜 $40\sim 50^\circ$ の割れ目が5~10cm間隔で発達する。 *記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない	
152	36.43	37.52	$\angle 50^\circ$ 程度の割れ目の他、不規則に割れ目が分布し、コアは硬質短柱状を呈する。割れ目には黄褐色化する。岩片はやや硬質であるが、コア採取時に軟質細粒物を流失している。	36.43	37.52	$\angle 50^\circ$ 程度の割れ目の他、不規則に割れ目が分布し、コアは硬質短柱状を呈する。割れ目には黄褐色化する。岩片はやや硬質であるが、コア採取時に軟質細粒物を流失している。	36.43	37.52	36.43~37.52m 傾斜 50° 程度の割れ目の他、不規則に割れ目が分布し、硬質短柱状を呈する。割れ目には黄褐色化する。コア採取時に軟質細粒物を流失している。	
153	36.82	37.05	(コアの形状欄) Wランク	36.82	37.05	(コアの形状欄) Vランク	36.82	37.05	(コアの形状欄) Vランク	-
154	37.20	37.20	岩片に灰白色シルトが付着する。	37.20	37.20	岩片に灰白色シルトが付着する。	37.20	37.20	37.20m 岩片に灰白色シルトが付着する。	-
155	37.32	37.52	(コアの形状欄) Wランク	37.32	37.52	(コアの形状欄) Vランク	37.32	37.52	(コアの形状欄) Vランク	-
156	37.52	37.89	割れ目間の岩質劣化が進行し、コアは硬質短柱状を呈する。マサ状部では割れ目、原岩組織が不明瞭となる。	37.52	37.89	割れ目間の岩質劣化が進行し、コアは硬質短柱状を呈する。マサ状部では割れ目、原岩組織が不明瞭となる。	37.52	37.89	37.52~37.89m 割れ目間の岩質劣化が進行し、コアは硬質短柱状を呈する。マサ状部では割れ目や原岩組織が不明瞭となる。	-
157	37.65	37.78	(コアの硬さ欄) Cランク	37.65	37.78	(コアの硬さ欄) Cランク	37.65	37.78	(コアの硬さ欄) Cランク	-
158	37.89	38.10	割れ目が巾1cm間隔網目状に発達し、割れ目沿いに酸化汚染が広がる。割れ目の多くは密着するが、ハンマーの軽打で分離する。	37.89	38.10	割れ目が幅1cm間隔で網目状に発達し、割れ目沿いに酸化汚染が広がる。割れ目の多くは密着するが、ハンマーの軽打で分離する。	37.89	38.10	37.89~38.10m 割れ目が幅1cm間隔で網目状に発達し、割れ目沿いに酸化汚染が広がる。割れ目の多くは密着するが、ハンマーの軽打で分離する。	-
159	38.00	39.00	(最大コア長欄) 0	38.00	39.00	(最大コア長欄) 4	38.00	39.00	(最大コア長欄) 4	-
160	38.10	38.27	破砕帯・凝り砂状破砕部(H)	38.10	38.27	破砕部・粘土混じり硬状部(H)	38.10	38.27	●38.10~38.27m 破砕部 粘土混じり硬状部(H) 上盤 40° 、下盤 50° でもに波打って連続。径2~10mmの岩片主体で、下部ほどシルト~粘土分を多く含む。38.10~38.27mは淡黄灰色を呈する。軟質。含まれる細粒物は高粘性の黄白という色名付は土色粘りない名付であるため色調名を変更した	硬質組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織の有無、境界面や細粒部の連続性・直線性、最新活動面の記載は別資料で示すこととし、柱状図には記載しない。
161	38.10	38.27	破砕帯(H)。上盤 40° (主せん断面)、下盤 50° 、巾11cm程度。シルト・細粒の混じる細粒砂を主とする。下位ほどシルト~粘土分を多く含む。38.10~38.19m間は灰白色。38.19~38.27mは淡黄灰色を呈する。軟質。含まれる細粒物は高粘性の黄白という色名付は土色粘りない名付であるため色調名を変更した	38.10	38.27	破砕帯(H)。上盤 40° (最新活動面)、下盤 50° でもに波打って連続。幅11cm程度。径2~10mmの岩片主体。シルト・細粒の混じる細粒砂を主とする。下位ほどシルト~粘土分を多く含む。破砕部。38.10~38.19m間は灰白色。38.19~38.27mは淡黄灰色を呈する。軟質。含まれる細粒物は高粘性の黄白という色名付は土色粘りない名付であるため色調名を変更した	38.10	38.27	●38.10~38.27m 破砕部 粘土混じり硬状部(H) 上盤 40° 、下盤 50° でもに波打って連続。径2~10mmの岩片主体で、下部ほどシルト~粘土分を多く含む。38.10~38.19mは灰白色。38.19~38.27mは淡黄灰色を呈する。幅110mm程度。38.10mにはフィルム状の暗緑灰色の細粒部を伴う。	硬質組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織の有無、境界面や細粒部の連続性・直線性、最新活動面の記載は別資料で示すこととし、柱状図には記載しない。

H24-B14-2 38.27~43.00m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	選定した記事内容		
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>						
162	38.27	38.67	38.27	38.67	<p>詳細に割れ目が発達し、割れ目に沿って酸化・マンガン汚染が広がる。</p> <p>細部に割れ目が発達し、割れ目に沿って酸化・マンガン汚染が広がる。</p>	<p>表現の適正化(割れ目⇒割目状)</p>	38.27	38.67	38.27~38.67m 細部に割れ目が発達し、割れ目沿いに酸化・マンガン汚染が広がる。	-	
163	38.67	39.21	38.67	39.21	<p>全体に割れ目、岩層織りや不明瞭で、白色、淡赤白色粘土が不規則に分布する。全体に軟質で針貫入可能である。(一部硬質硬塊あり)。カタレーサイト様の層を呈する。</p> <p>全体に割れ目、原岩層織りや不明瞭であるが割れ目跡は残る。白色、淡赤白色粘土が不規則に分布する。全体に軟質で針貫入可能である。(一部硬質硬塊あり)。カタレーサイト様の層を呈する。</p>	<p>表現の適正化(原岩層織り)</p> <p>赤白という色名は土色軸にない名称であるため色調名を変更した。</p> <p>割れ目跡が残ることについて追記した。</p> <p>不明瞭ながら原岩層織りが認められるため破砕部ではないと判断して「カタレーサイト様の層」を削除した。</p>	38.67	39.21	38.67~39.21m 全体に割れ目や原岩層織りがやや不明瞭であるが、割れ目跡は残る。白~淡赤白色粘土が不規則に分布する。全体に軟質で針貫入可能であるが、一部に硬質硬塊を呈する。	-	
164	39.00	39.21	39.00	39.21	(割れ目状態)Bランク	(割れ目状態)Cランク	割れ目は認識できるため割れ目状態のランクをCランクに変更した	39.00	39.21	(割れ目状態)Cランク	-
165	39.21	39.35	39.21	39.35	(変質層)2ランク	(変質層)3ランク	変質の程度がやや強いため変質のランクを3ランクに変更した	39.21	39.35	(変質層)3ランク	-
166	39.21	41.29	39.21	41.29	<p>30~50°の割れ目と不規則な割れ目が発達する。割れ目に沿って岩質劣化し、コアは岩片状を主とし、一部に硬質部を塊状に呈す。割れ目の多くにフィルム状の白色~黄褐色シルトを挟んでいる。</p> <p>30~50°の割れ目と不規則な割れ目が発達する。割れ目に沿って岩質劣化し、コアは岩片状を主とし、一部にやや硬質部を塊状に呈す。割れ目の多くにフィルム状の白色~黄褐色シルトを挟んでいる。</p>	<p>コアに合わせて硬軟を変更した。</p> <p>割れ目の修正(「色」の記載漏れ)</p>	39.21	41.29	39.21~41.29m 傾斜30~50°の割れ目と不規則な割れ目が発達する。割れ目沿いに岩質劣化し、岩片状を主とし、一部にやや硬質部を塊状に呈す。割れ目の多くにフィルム状の白~黄褐色シルトを挟在する。	-	
167	39.21	40.13	39.21	40.13	割れ目面の多くは黄褐色化する。	割れ目面の多くは黄褐色化する。	割れ目の修正(「色」の記載漏れ)	39.21	40.13	39.21~40.13m 割れ目面の多くは黄褐色化する。	-
168	40.25	40.31	40.25	40.31	<p>変質部。上端30°、下端45°で斜交する。灰白色粘土の混じる石英粒の粗砂~細砂からなる(粘土質砂状)。上下位のコアは幅10~20mmオリーブ灰色を呈する。</p> <p>変質部。上端40°、下端50°で斜交する。灰白色粘土の混じる石英粒の粗砂~細砂からなる(粘土質砂状)。上下位のコアは幅10~20mmオリーブ灰色を呈する。</p>	<p>割れ目の修正(単位「色」の記載漏れ)</p> <p>変質の修正(変質部)</p> <p>表現の適正化(幅)</p>	40.25	40.31	40.25~40.31m 変質部。上端40°、下端50°で斜交する。石英粒の粗砂~細砂を混む灰白色粘土質砂状を呈する。上下位のコアは幅10~20mmオリーブ灰色を呈する。	-	
169	40.35	41.29	40.35	41.29	(変質層)2ランク	(変質層)3ランク	変質の程度がやや強いため変質のランクを3ランクに変更した	40.35	41.29	(変質層)3ランク	-
170	41.29	42.13	41.29	42.13	<p>上下位と比べて風化・変質の程度弱く、コア表面滑らか。30~50°の割れ目が1~10cm間隔で発達し、コアは片~短柱状を呈する。</p> <p>上下位と比べて風化・変質の程度弱く、コア表面滑らか。30~50°の割れ目が1~10cm間隔で発達し、コアは短片~短柱状を呈する。</p>	<p>表現の適正化(片状⇒短片状)</p>	41.29	42.13	41.29~42.13m 上下位と比べて風化・変質の程度が弱く、コア表面が滑らかである。傾斜30~50°の割れ目が1~10cm間隔で発達し、短片~短柱状を呈する。	-	
171	41.65	41.74	41.65	41.74	(コアの形状)IVランク	(コアの形状)Vランク	周囲より割れ目が多いためコアの形状のランクをVランクに変更した	41.65	41.74	(コアの形状)Vランク	-
172	41.65	41.74	-	-	割れ目密集し、コアはやや脆弱となる。	-	-	41.65~41.74m 割れ目が密集し、コアはやや脆弱となる。	-	-	
173	41.74	42.27	41.74	42.27	(割れ目状態)Bランク	(割れ目状態)Cランク	割れ目に伴って伴わないことが多いため割れ目状態のランクをCランクに変更した	41.74	42.27	(割れ目状態)Cランク	-
174	42.13	42.37	42.13	42.37	(風化層)Aランク	(風化層)Aランク	風化の程度はやや弱いため風化のランクをAランクに変更した	42.13	42.37	(風化層)Aランク	-
175	42.27	42.71	42.27	42.71	(色調)7.5YR7/1 明褐灰	(色調)7.5YR5/3 に近い褐	コアに合わせて色調の色調を変更した	42.27	42.71	(色調)に近い褐	-
176	42.13	42.71	42.13	42.71	<p>風化・変質の影響を強く受け、コアは軟質となる。特に、42.37~42.47m間は上下端45°の割れ目で境され、岩層織り、割れ目消失する(内層を呈する)。</p> <p>風化・変質の影響を強く受け、コアは軟質となる。特に、42.37~42.47m間は上下端45°の割れ目で境され、原岩層織り、割れ目消失する(内層を呈す)。含まれる際に定向配列は見られない。</p>	<p>表現の適正化(原岩層織り)</p> <p>風化変質で原岩層織りは不明瞭であるが、含まれる際に定向配列が見られないため破砕部ではないと判断して「内層」を削除した。</p>	42.13	42.71	42.13~42.71m 風化・変質の影響を強く受け、コアは軟質となる。特に、42.37~42.47m間は上下端傾斜45°の割れ目で境され、原岩層織りや割れ目が消失する。含まれる際に定向配列は見られない。	-	
177	42.71	43.19	42.71	43.19	(コアの形状)IVランク	(コアの形状)Vランク	下位より割れ目が多いが、上位よりは少ないためコアの形状のランクをVランクに変更した	42.71	43.19	(コアの形状)Vランク	-
178	42.71	43.51	42.71	43.51	片~短柱状コアを呈し、やや軟質で、ハンマー打診で鈍い金属音を発する。	短片~短柱状コアを呈し、やや硬質~やや軟質で、ハンマー打診で鈍い金属音を発する。	表現の適正化(片状⇒短片状) <p>やや硬質部分を含むため硬軟を変更した</p>	-	-	-	記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない
179	43.00	44.00	43.00	44.00	(ROD)13 (最大コア長)13	(ROD)10 (最大コア長)4	最大コア長13cmとした箇所にも密着割れ目が存在するため最大コア長を変更した。 上記に伴い、RODを変更した	43.00	44.00	(ROD)10 (最大コア長)4	-
180	42.71	43.00	42.71	43.00	(色調)7.5YR7/1 明褐灰	(色調)10YR9/2 灰黄褐	コアに合わせて色調の色調を修正	42.71	43.00	(色調) 灰黄褐	-

H24-B14-2 43.00~46.20m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
181	43.00	43.51	43.00~43.51m間では、不規則に岩芯まで風化・変質が進行し、コアは褐灰〜オリーブ灰色を帯びる。	-	-	-	43.00	43.51	43.00~43.51m、不規則に岩芯まで風化・変質が進行し、コアは褐灰〜オリーブ灰色を帯びる。	-
182	43.19	43.51	(コアの形状欄) IVランク	43.19	43.51	(コアの形状欄) IVランク	43.19	43.51	(コアの形状欄) IVランク	-
183	43.51	43.81	風化・変質の影響を強く受ける。一部に硬さD相当の岩片を残すが、多くは針貫入可能である。上端(∠50°)には幅8~10mmで明赤灰色の砂混じりシルトが分布する。	43.51	43.81	風化・変質の影響を強く受ける。一部に硬さD相当の岩片を残すが、多くは針貫入可能である。上端(∠50°)には幅8~10mmで明赤灰色の砂混じりシルトが分布する。	43.51	43.81	43.51~43.81m、強く風化・変質し、一部に硬さDの岩片を残すが、多くは針貫入可能である。上端には傾斜80°で幅8~10mmの明赤灰色の砂混じりシルトが分布する。	-
184	43.51	43.81	(色調欄) 10YR6/2灰黄褐	43.51	44.08	(色調欄) 7.5YR5/3にふい褐	43.51	44.08	(色調欄) にふい褐	-
185	43.51	43.81	(割れ目状態欄) dランク	43.51	43.81	(割れ目状態欄) eランク	43.51	43.81	(割れ目状態欄) eランク	-
186	43.81	44.08	上位と比べて風化・変質の程度は弱い。∠60°以上の割れ目に沿って土砂化するほか、網状に割れ目発達し、コアは脆弱である。	-	-	-	43.81	44.08	43.81~44.08m、上位と比べて風化・変質の程度は弱い。傾斜80°以上の割れ目に沿って土砂化するほか、網状に割れ目が発達し、コアは脆弱である。	-
187	44.00	45.00	(ROD欄) 16 (最大コア長欄) 16	44.00	45.00	(ROD欄) 0 (最大コア長欄) 19	44.00	45.00	(ROD欄) 0 (最大コア長欄) 9	-
188	44.08	45.25	∠15°程度の割れ目が2~3cm間隔で発達するほか、∠60°以上の割れ目が分布し、コアは岩片を呈する。割れ目沿いに多少岩質劣化するが、岩片は硬質である。下端は∠52°の割れ目で下位と境される。割れ目には巾4mm砂・細粒泥り粘土が挟在し、周囲のコアには白雲母が散在する。	44.08	44.25	∠15°程度の割れ目が2~3cm間隔で発達するほか、∠60°以上の割れ目が分布し、コアは岩片を呈する。割れ目沿いに多少岩質劣化するが、岩片は硬質である。下端は∠52°の割れ目で下位と境される。割れ目には巾4mmで明褐色の砂・細粒泥り粘土が挟在し、周囲のコアには白雲母が散在する。	44.08	44.25	44.08~44.25m、傾斜15°程度の割れ目が2~3cm間隔で発達するほか、傾斜80°以上の割れ目が分布し、細片状を呈する。割れ目沿いに多少岩質劣化するが、岩片は硬質である。下端の傾斜52°の割れ目には巾4mmで明褐色の砂・細粒泥り粘土を挟み、周囲には白雲母が散在する。	-
189	44.25	44.63	(割れ目状態欄) eランク (コアの形状欄) IIIランク	44.25	44.63	(割れ目状態欄) bランク (コアの形状欄) IVランク	44.25	44.63	(割れ目状態欄) bランク (コアの形状欄) IVランク	-
190	43.25	43.63	硬質柱状コア。	44.25	44.63	やや硬質な短柱状コア。	-	-	-	記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない
191	44.63	45.20	割れ目沿いの風化・変質が進行し、コアは硬〜細片状を呈する。岩片はやや硬質なものが多いが、一部は指圧で崩せるほど軟質なものもある。	44.63	45.20	割れ目沿いの風化・変質が進行し、コアは硬〜細片状を呈する。岩片はやや硬質なものが多いが、一部は指圧で崩せるほど軟質なものもある。	44.63	45.20	44.63~45.20m、割れ目沿いの風化・変質が進行し、硬〜細片状を呈する。岩片はやや硬質なものが多いが、一部は指圧で崩せるほど軟質となる。	-
192	45.00	46.00	(ROD欄) 0 (最大コア長欄) 5	45.00	46.00	(ROD欄) 12 (最大コア長欄) 12	45.00	46.00	(ROD欄) 12 (最大コア長欄) 12	-
193	45.00	45.20	D級岩盤。	45.00	45.20	D級岩盤-	-	-	-	-
194	45.00	45.20	風化・変質を強く受け、割れ目および岩層の一部が不明瞭となる。	45.00	45.20	風化・変質を強く受け、割れ目および岩層の一部が不明瞭となる。	45.00	45.20	45.00~45.20m、風化・変質を強く受け、割れ目や原岩組織の一部が不明瞭となる。	-
195	45.20	45.76	(コアの形状欄) IIIランク	45.20	45.76	(コアの形状欄) IVランク	45.20	45.76	(コアの形状欄) IVランク	-
196	45.20	45.76	∠50~60°の割れ目が2~10cm間隔で発達し、コアは岩片状〜柱状を呈する。割れ目にはしばしば黄褐色土砂状物質を挟在する。岩片は硬質である。	45.20	45.90	∠50~60°の割れ目が2~10cm間隔で発達し、コアは岩片状〜柱状を呈する。割れ目にはしばしば黄褐色土砂状物質を挟在する。岩片は硬質である。	45.20	45.90	45.20~45.90m、傾斜50~60°の割れ目が2~10cm間隔で発達し、岩片状〜柱状を呈する。割れ目には黄褐色土砂状物質を挟在することが多い。	記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
197	45.90	47.37	風化・変質をやや強く受け、一部の割れ目、原岩組織がやや不明瞭となる。全体に1~3cm間隔で網状割れ目が発達する。ほとんどの割れ目に灰白〜黄褐色を呈する変質粘土を挟在する。	45.90	47.37	風化・変質をやや強く受け、一部の割れ目、原岩組織がやや不明瞭となる。全体に1~3cm間隔で網状割れ目が発達する。ほとんどの割れ目に灰白〜黄褐色を呈する変質粘土を挟在する。	45.90	47.37	45.90~47.37m、風化・変質をやや強く受け、一部の割れ目や原岩組織はやや不明瞭となる。全体に1~3cm間隔で網状の割れ目が発達する。ほとんどの割れ目に灰白〜黄褐色の変質粘土を挟在する。	-
198	46.07	46.07	巾12mm、∠35°、シルト質砂挟在。	46.07	46.07	幅12mm、∠35°、明黄褐色シルト質砂挟在。	46.07	46.07	46.07m、傾斜35°で幅12mmの明黄褐色シルト質砂を挟む。	-
199	46.10	46.17	マンガン汚染が広がる。割れ目、原岩組織不明瞭であるが、コアは硬い。	46.10	46.17	マンガン汚染が広がる。割れ目、原岩組織不明瞭であるが、コアは硬い。	46.10	46.17	46.10~46.17m、マンガン汚染し、割れ目や原岩組織は不明瞭である。コアは硬い。	-
200	46.20	46.20	巾1~6mm、∠83°、砂混じりシルト挟在。	46.20	46.20	幅1~6mm、∠83°、灰白色砂混じりシルト挟在。	46.20	46.20	46.20m、傾斜83°で幅1~6mmの灰白色砂混じりシルトを挟む。	-

H24-B14-2 46.74~50.00m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	適正化された記事内容		
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>						
201	46.44	-	46.44m以深やや変質の程度が弱く、上位と比べて割れ目間隔が広くなる。	46.74	-	46.74m以深やや変質の程度が弱く、上位と比べて割れ目間隔が広くなる。			46.74	-	46.74m以深は変質の程度がやや弱く、上位と比べて割れ目間隔が広くなる。
202	47.03	47.03	巾3mm、 $\angle 34^\circ$ 、砂混じりシルト挟在。	47.03	47.03	幅3mm、 $\angle 34^\circ$ 、灰白色砂混じりシルト挟在。			47.03	47.03	47.03m、傾斜 34° で幅3mmの灰白色砂混じりシルトを挟む。
203	47.37	47.40	(破砕度区分)Hb	47.37	47.40	(破砕度区分)Hc			47.37	47.40	(破砕度区分)Hc
204	47.37	47.40	破砕帯(主せん断面37.40m)	47.37	47.40	破砕帯(最新活動面47.40m)			47.37	47.40	●47.37~47.40m:破砕帯 粘土混じり砂状部(Hc) 上端 40° 、下端 45° とともに凹凸して連続。径2~5mm程度の岩片が主体である。下層付近に幅1~3mmの連続性・直線性の良い暗灰色粘土を挟む。境界面及び細粒部の連続性・直線性、原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められる。灰白~褐色を呈する。幅20~25mm。
205	47.37	47.40	腐泥り砂状(Hb)。上端 40° 、下端 45° 、巾20~25mm。灰白砂質シルトを主とし、巾1~3mm褐色粘土を挟む。上端はシャープであるが、下端は凹凸する。Hbは灰白~褐色で腐泥り砂である。	47.37	47.40	粘土混じり砂状破砕部(Hc)。上端 40° 、下端 45° で凹凸して連続。径2~5mm程度の岩片が主体である。下層付近に幅1~3mmの連続性・直線性の良い暗灰色粘土を挟む。境界面及び細粒部の連続性・直線性、原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は認められる。灰白~褐色を呈する。幅20~25mm。			47.37	47.40	●47.37~47.40m:破砕帯 粘土混じり砂状部(Hc) 上端 40° 、下端 45° とともに凹凸して連続。径2~5mm程度の岩片が主体である。下層付近に幅1~3mmの暗灰色粘土を挟む。灰白~褐色を呈する。幅20~25mm。
206	47.40	49.24	全体に変質作用が進行し、コアはシルト混じり砂状を呈する。岩片は硬質であるが、網目状に灰白色の粘土~シルト層が分布し、コアは全体として脆弱である。	47.40	49.24	粘土~シルト層の色調を追記した。 表現の適正化(網状=網目状)			47.40	49.24	47.40~49.24m:全体に変質し、シルト混じり砂状を呈する。岩片は硬質であるが、網目状に灰白色の粘土~シルト層が分布し、全体として脆弱である。
207	47.55	47.65	(コアの硬さ)Oランク (コアの形状)Vランク	47.55	47.65	(コアの硬さ)Oランク (コアの形状)IVランク			47.55	47.65	(コアの硬さ)Oランク (コアの形状)IVランク
208	47.53	47.53	巾3mm、 $\angle 50^\circ$ 、灰白変質粘土を挟む。	47.53	47.53	幅3mm、 $\angle 50^\circ$ 、灰白色変質粘土を挟む。			47.53	47.53	47.53m、傾斜 50° で幅3mmの灰白色変質粘土を挟む。
209	47.70	48.87	$\angle 80\sim 90^\circ$ 割れ目に沿って著しく変質する(粘土~土砂化)。	-	-	-			47.70	48.87	47.70~48.87m、傾斜 $80\sim 90^\circ$ の割れ目沿いに著しく変質し、粘土~土砂化する。
210	48.00	49.00	(最大コア長)0	48.00	49.00	(最大コア長)2			48.00	49.00	(最大コア長)2
211	48.09	48.09	巾3~5mm、 $\angle 72^\circ$ 、シルト質砂。	48.09	48.09	幅3~5mm、 $\angle 72^\circ$ 、灰白色のシルト質砂を挟む。			48.09	48.09	48.09m、傾斜 72° で幅3~5mmの灰白色のシルト質砂を挟む。
212	48.09	48.22	(割れ目状態)Oランク (コアの形状)Vランク (コアの硬さ)Oランク	48.09	48.22	(割れ目状態)Oランク (コアの形状)Vランク (コアの硬さ)Oランク			48.09	48.22	(割れ目状態)Oランク (コアの形状)Vランク (コアの硬さ)Oランク
213	48.09	48.86	網状に変質粘土層が発達し、コアは粘土質砂層~片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。	48.09	48.86	網状に変質粘土層が発達し、コアは粘土質砂層~片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。			48.09	48.86	48.09~48.86m:網状に変質粘土層が発達し、粘土質砂層~片状を呈する。岩片に風化変質は認められない。
214	49.00	50.00	(最大コア長)0	49.00	50.00	(最大コア長)2			49.00	50.00	(最大コア長)2

H24-B14-2 49.24~53.00m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)	記事を削除・変更・追記した理由	上端深度	下端深度		適正化の記事内容
上端深度	下端深度	コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>	上端深度	下端深度	追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>		上端深度	下端深度		
215	49.24	49.55	破砕帯	49.24	49.55	破砕帯	用語の統一(破砕帯→破砕部)			●49.24~49.55m:破砕部 49.24~49.26m:凝りり粘土状部(Hc-2) 上端20°で凹凸する。下端35°。上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。幅15~25mm。 ●49.26~49.42m:粘土混じり砂礫状部(Hg) 上端35°で直線的に連続。下端50°で波打って連続。径2~10mmの岩片主体で、岩片間に粘土細粒が傾斜40~60°で分布する。変質が進み、緑灰色を呈する。 ●49.42~49.45m:粘土質礫状部(Hb) 上端50°で波打って、下端20°で直線的に連続。上下端に幅0.3~5mmの暗灰色粘土を伴う。径2~10mmの粘土化した岩片主体である。灰白色を呈する。幅10~20mm。 ●49.45~49.55m:粘土混じり砂礫状部(Hg) 上端20°、下端35°でも直線的に連続。径5~10mmの岩片主体で岩片間に灰白色の粘土層が分布する。淡赤灰色を呈する。 傾斜45°で、幅5~6mmの白~淡赤灰色砂混じり粘土を挟む。
216	49.24	49.27	砂混りり粘土状(Hc-2)。上端は凹凸する(20°程度)。下端35°。幅15~25mm。灰~灰白砂混りり粘土を主とする。上端は灰白で、下端に向かって灰色に漸移する。	49.24	49.26	砂混りり粘土状(Hc-2)。上端は凹凸する(20°程度)。下端35°で直線的(最新活動面)。幅15~25mm。灰~灰白色の細混りり粘土を主とする。上端は灰白色で、下端に向かって灰色に漸移する。軟質で原岩組織が認められる岩片からなる組織は見られない。	●コアに合わせて下端深度を変更した。 ●砂より硬さを多く含むため破砕部内物質の名称を変更した。 ●硬軟、最新活動面、細粒部の連続性・直線性。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織について追記した。 ●表視の適正化(混じり) ●顔記の修正(「色」の記載漏れ)			
217	49.27	49.42	粘土混りり砂礫状(Hg)。上端は上記破砕帯と接し、下端は235°を示す。粘土細粒が40~60°で多数分布するほか、Hb~Hc-2相当の薄層を挟む。変質進行し、コアは緑灰色を帯びる。	49.28	49.42	粘土混りり砂礫状(Hg)。上端は35°で直線的。下端は235°で波打って連続。粘土細粒が40~60°で扇形的に分布する。軟質。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は見られる。変質進行し、コアは緑灰色を帯びる。	●コアに合わせて上端深度を変更した。 ●上端下端境界。硬軟、境界面及び細粒部の連続性・直線性。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織について追記・修正した。 ●下端の傾斜が上記の上端の傾斜と整合しないため下端の傾斜を修正した。 ●表視の適正化(混じり)			
218	49.42	49.45	49.42~49.45、Hb相当。上端250°、下端220°。上下端に暗灰色粘土0.3~5mmを伴う。	49.42	49.45	49.42~49.45m、粘土質礫状 Hb相当。上端250°で波打って、下端220°で直線的に連続。上下端に暗灰色粘土0.3~5mmを伴う。軟質。含まれる細粒部は扇状に分布する。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は見られる。灰白色を呈する。幅10~20mm。	●破砕部内物質、境界面及び細粒部の連続性・直線性。硬軟、色調、原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織。幅について追記した。 ●顔記の修正(単位「mm」の記載漏れ)	49.24	49.55	
219	-	-	-	49.45	49.55	粘土混りり砂礫(Hg)で直線的に連続。径5~10mmの岩片主体で岩片間に灰白色の粘土層が扇状に分布する。やや軟質。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は見られる。淡赤灰色を呈する。	●破砕部内物質、硬軟度区分、上端下端境界、色調、内部構造、硬軟、境界面の連続性・直線性。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織について追記した。			
220	49.50	49.50	Hc-2相当。幅5~8mm、245°。白~淡赤白砂混りり粘土。	49.50	49.50	Hc-2相当。幅5~8mm、245°。白~淡赤灰色砂混りり粘土を挟む。直線性に乏しい。やや軟質。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は見られない。	●硬軟、細粒部の連続性・直線性。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織について追記した。 ●赤白という色名は土色表にない名称であるため色調名を変更した。 ●表視の適正化(幅) ●顔記の修正(m⇒mm)			
221	49.55	49.64	風化・変質により、コア表面粗く、脆弱。	-	-	-		49.55	49.64	49.55~49.64m:風化・変質により、コア表面が粗く、脆弱である。
222	49.70	50.27	(コアの形状欄) Vランク	49.70	50.27	(コアの形状欄) Vランク	●周囲と同様に割れ目が多いためコアの形状のランクをVランクに変更した。	49.70	50.27	(コアの形状欄) Vランク
223	49.64	50.50	240~50°の割れ目が1~3cmで発達するほか、275°以上の高角割れ目が分布する。コア採取時に割れ、コアは1~5cmの片状を呈する。上位と比べ、変質の程度は弱く、比較的良好的な岩盤と考えられる。	49.64	50.50	240~50°の割れ目が1~3cm間隔で発達するほか、275°以上の高角割れ目が分布する。コア採取時に割れ、コアは1~5cmの片状を呈する。上位と比べ、風化・変質の程度は弱く、比較的良好的な岩盤と考えられる。	●顔記の修正(「間隔」の「後」の記載漏れ) ●表視の適正化(片状⇒細片状)	49.64	50.50	49.64~50.50m:傾斜40~50°の割れ目が1~3cm間隔で発達するほか、傾斜75°以上の高角割れ目が分布する。コア採取時に乱し、径1~5cmの細片状を呈する。
224	50.00	51.00	(最大コア長欄) 0	50.00	51.00	(最大コア長欄) 2	●最大コア長が2mのところは認められるため、修正した。	50.00	51.00	(最大コア長欄) 2
225	50.50	51.43	コア落下。回収不能。	50.50	51.43	コア欠如 回収不能	●表視の適正化(コア欠如)	50.50	51.43	50.50~51.43m:コア欠如
226	50.50	51.43	(地質名欄) Qp (色誤欄) コア欠	50.50	51.43	(地質名欄) コア欠如 (色誤欄) 空欄	●色誤欄にコア欠の記載があるため地質名欄に記載した。 ●表視の適正化(コア欠如)	50.50	51.43	(地質名欄) コア欠如 (色誤欄) 空欄
227	51.00	52.00	(最大コア長欄) 7	51.00	52.00	(最大コア長欄) 2	●最大コア長7mとした箇所にも密着割れ目が存在するため最大コア長を変更した。	51.00	52.00	(最大コア長欄) 2
228	51.43	52.36	255~75°の割れ目が0.3~2cm間隔で発達し、コアは細片~薄片状を呈する。全体にやや変質し、長石類は緑灰色化し、コアも灰色を帯びる。コアは脆弱でハンマーで細片状に砕ける。	51.43	52.36	255~75°の割れ目が0.3~2cm間隔で発達し、コアは細片~薄片状を呈する。全体にやや変質し、長石類は緑灰色化し、コアも灰色を帯びる。コアは脆弱でハンマーで細片状に砕ける。	●表視の適正化(片状⇒薄片状)	51.43	52.36	51.43~52.36m:傾斜40~55°の割れ目が0.3~2cm間隔で発達し、細片~薄片状を呈する。全体にやや変質し、長石類は緑灰色化し、灰色を帯びる。
229	51.89	51.92	幅17mm、240°、緑灰色のシルト・細粒混じり砂。	51.89	51.92	幅17mm、240°、緑灰色のシルト・細粒混じり砂。	●砂の色調を追記した。 ●表視の適正化(幅)	51.89	51.92	51.89~51.92m:傾斜40°で幅17mmの緑灰色シルト・細粒混じり砂を挟む。
230	52.00	53.00	(最大コア長欄) 8	52.00	53.00	(最大コア長欄) 5	●最大コア長5mとした箇所にも密着割れ目が存在するため最大コア長を変更した。	52.00	53.00	(最大コア長欄) 5

H24-B14-2 52.36~56.82m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)		
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	記事			
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>							
231	52.14	52.36	コアは片状を主とする。岩片は硬質となる。	52.14	52.36	コアは岩片状を主とする。岩片はやや硬質となる。			-	-	-	記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない
232	52.36	52.92	25°~50°の割れ目が0.5~5cm間隔で発達し、コアは片~短柱状を呈する。	52.36	52.92	25°~50°の割れ目が0.5~5cm間隔で発達し、コアは短片~短柱状を呈する。			52.36	52.92	52.36~52.92m 傾斜25~50°の割れ目が0.5~5cm間隔で発達する。	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
233	-	-	-	52.50	52.52	傾斜20°で幅10~20mmの暗灰色の塊状粘土を挟む。スライムの可能性が高い。			52.50	52.52	52.50~52.52m 傾斜20°で幅10~20mmの暗灰色の塊状粘土を挟む。スライムの可能性が高い。	-
234	52.60	52.76	(コアの形状欄) Vランク	52.60	52.76	(コアの形状欄) IVランク			52.60	52.76	(コアの形状欄) IVランク	-
235	52.60	52.92	(割れ目状態欄) aランク	52.60	52.92	(割れ目状態欄) bランク			52.60	52.92	(割れ目状態欄) bランク	-
236	52.92	53.33	上位と比べて風化・変質進行し、コアは軟質となっている。特に52.92~53.13m間は割れ目・原岩組織が不明瞭となっている。	52.92	53.33	上位と比べて風化・変質進行し、コアは軟質となっている。特に52.92~53.13m間は割れ目・原岩組織が不明瞭となっている。			52.92	53.33	52.92~53.33m 上位と比べて風化・変質が進み、軟質である。特に52.92~53.13m間は割れ目・原岩組織が不明瞭である。	-
237	53.33	53.35	巾20~25mm、上下端15°程度、上側は巾5~15mm、粘土質砂礫状。下側は巾5~15mm、砂・細礫混じり粘土状。いずれも灰白色。見かけ正断層。	53.33	53.35	巾20~25mm、上下端15°程度、上側は幅5~15mm、粘土質砂礫状。下側は幅5~15mm、砂・細礫混じり粘土状。いずれも灰白色。見かけ正断層。粘土状部は断面に分布し、上部境界・下部境界は不明瞭。原岩組織が認められる。せん断構造・変形構造が認められない。変質部。			53.33	53.35	53.33~53.35m 上下端15°程度で幅20~25mmの変質部。上部は幅5~15mmの粘土質砂礫状。下部は幅5~15mmの砂・細礫混じり粘土状を呈する。いずれも灰白色。見かけ正断層。粘土状部は断面に分布し、上部境界・下部境界は不明瞭である。原岩組織が認められ、せん断構造・変形構造は認められない。	-
238	53.35	53.82	25°および45°の割れ目が5~20mm間隔で発達し、コアは短片状を呈する。全体に軟質を呈する。ほぼ全ての割れ目にフィルム状の白色粘土を挟む。	-	-	-			53.35	53.82	53.35~53.82m 傾斜25°及び45°の割れ目が5~20mm間隔で発達し、短片状を呈する。全体に軟質し、ほぼ全ての割れ目にフィルム状の白色粘土を挟む。	-
239	53.82	54.48	密着した23°および50°の割れ目が3~5cm間隔で発達する。コアは硬質短柱状を呈す。割れ目沿いの酸化汚染は軽微である。	53.82	54.48	密着した23°および50°の割れ目が3~5cm間隔で発達する。コアは硬質短柱状を呈す。割れ目沿いの酸化汚染は軽微である。			53.82	54.48	53.82~54.48m 傾斜30~50°及び80°の密着割れ目が3~5cm間隔で発達する。割れ目沿いの酸化汚染は軽微である。	記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない
240	54.48	55.00	(割れ目状態欄) cランク (岩級区分欄) CL	54.48	55.00	(割れ目状態欄) bランク (岩級区分欄) CM			54.48	55.00	(割れ目状態欄) bランク (岩級区分欄) CM	-
241	54.48	55.40	上位に比べて割れ目沿いの褐色化がみられる。微細な割れ目も発達する。特に55.10~55.17mは微細な割れ目が密集し亀甲状を呈す。割れ目沿って風化が進む。	-	-	-			54.48	55.40	54.48~55.40m 上位に比べて割れ目沿いの褐色化が見られる。微細な割れ目も発達する。特に55.10~55.17mは微細な割れ目が密集し亀甲状を呈す。割れ目沿って風化が進む。	-
242	55.00	60.00	(地質名欄) 空欄	55.00	60.00	(地質名欄) 花崗斑岩			55.00	60.00	(地質名欄) 花崗斑岩	-
243	55.00	55.40	(コアの形状欄) Vランク	55.00	55.40	(コアの形状欄) Vランク			55.00	55.40	(コアの形状欄) Vランク	-
244	55.40	55.84	上下位に比べて風化・変質作用による岩盤劣化し、軟質となる。一部硬質岩片(硬さ)が残存する。長石類は変質し、全体として赤色を帯びる。割れ目周囲も上下位に比べて大となり、亀甲状を呈す。微細な割れ目までマンガン汚染がみられる。	55.40	55.84	上下位に比べて風化・変質作用による岩盤劣化し、やや軟質となる。一部硬質岩片(硬さ)が残存する。長石類は変質し、全体として赤色を帯びる。割れ目周囲も上下位に比べて大となり、亀甲状を呈す。微細な割れ目までマンガン汚染が見られる。			55.40	55.84	55.40~55.84m 上下位に比べて風化・変質により、やや軟質となる。一部や硬質の岩片が残存する。長石類は変質し、全体として赤色を帯びる。割れ目周囲も上下位に比べて多くなり、亀甲状を呈する。全体にマンガン汚染が見られる。	-
245	55.84	56.62	上位に比べて風化作用による岩盤の劣化は軽微となる。傾斜45°及び縦方向の割れ目がみられる。遊離鉄が認められるが、割れ目沿いは褐色化する。	-	-	-			55.84	56.62	55.84~56.62m 上位に比べて風化による劣化は軽微となる。傾斜45°及び縦方向の割れ目が見られる。遊離鉄が認められるが、割れ目沿いは褐色化する。	-
246	56.38	56.62	割れ目沿いに腐蝕が劣化し、細片化する。	-	-	-			56.38	56.62	56.38~56.62m 割れ目沿いの細片化が見られる。	-
247	56.84	57.05	(割れ目状態欄) cランク (岩級区分欄) CL	56.84	57.05	(割れ目状態欄) bランク (岩級区分欄) CM			56.84	57.05	(割れ目状態欄) bランク (岩級区分欄) CM	-
248	56.82	57.42	上位と比べてやや変質作用を受け、割れ目及び割れ目周辺に暗緑色鉱物がみられる。	-	-	-			56.82	57.42	56.82~57.42m 上位と比べてやや変質を受け、割れ目及び割れ目周辺に暗緑色鉱物が見られる。	-
249	56.82	56.82	(コアの形状欄) IVランク	56.82	56.82	(コアの形状欄) IIIランク			56.82	56.82	(コアの形状欄) IIIランク	-

H24-B14-2 56.62~63.09m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	記事	
上端深度	下端深度	コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>	上端深度	下端深度	追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>		上端深度	下端深度	追記した記事内容	
250	56.62	56.91	(コアの硬さ)Bランク	56.62	56.91	(コアの硬さ)Bランク	56.62	56.91	(コアの硬さ)Bランク	-
251	57.42	57.68	上下位に比べて変質作用により岩盤が劣化し、軟質となる。長石類の大半は緑色鉱物(緑泥石?)に変質する。	57.42	57.68	上下位に比べて変質作用により岩盤が劣化し、やや軟質となる。長石類の大半は緑色鉱物(緑泥石化)に変質する。	57.42	57.68	57.42~57.68m: 変質が進み、やや軟質となる。長石類の大半は緑泥石化する。	-
252	57.68	57.68	57.68m: 割れ目沿いにマンガンが濃集し(最大幅2mm)、周囲の微細な割れ目はマンガンに汚染される。	-	-	-	57.68	57.68	57.68m: 割れ目沿いに最大幅2mmでマンガンが濃集し、周囲の微細な割れ目もマンガンに汚染される。	-
253	57.68	58.00	57.68~58.00m: 上位に比べて変質作用は軽微となる。	57.68	58.00	57.68~58.00m: 上位に比べて変質作用は軽微となる。	57.68	58.00	57.68~58.00m: 上位に比べて変質は軽微となる。	-
254	58.00	58.31	(割れ目状態)Bランク (コアの硬さ)Bランク	58.00	58.31	(割れ目状態)Bランク (コアの硬さ)Bランク	58.00	58.31	(割れ目状態)Bランク (コアの硬さ)Bランク	-
255	58.00	58.50	上下位に比べて岩質良好となる。割れ目沿い及び岩芯の酸化汚染はほとんど見られない。	-	-	-	58.00	58.50	58.00~58.50m: 上下位に比べて岩質は良好である。割れ目沿い及び岩芯の酸化汚染はほとんど見られない。	-
256	58.50	58.78	変質作用により、長石類は緑色鉱物に変質し、軟質となる。傾斜30°程度の割れ目が優勢となる。	58.50	58.78	変質作用により、長石類は緑色鉱物に変質し、やや軟質となる。傾斜30°程度の割れ目が優勢となる。	58.50	58.78	58.50~58.78m: 長石類は緑色鉱物に変質し、やや軟質である。傾斜30°程度の割れ目が主体である。	-
257	58.78	59.05	58.78~59.05m: 上位に比べて変質作用は軽微であり、硬質となる。	58.78	59.05	58.78~59.05m: 上位に比べて変質作用は軽微であり、やや硬質となる。	58.78	59.05	58.78~59.05m: 上位に比べて変質は軽微であり、やや硬質である。	-
258	59.05	59.25	上下位に比べて、変質作用によって岩盤が劣化し、軟質となる。長石類は淡緑色鉱物(緑泥石?)に変質する。	59.05	59.25	上下位に比べて、変質作用によって岩盤が劣化し、やや軟質となる。長石類は淡緑色鉱物(緑泥石化)に変質する。	59.05	59.25	59.05~59.25m: 上下位に比べて変質し、やや軟質である。長石類は緑泥石化する。	-
259	59.48	59.55	(コアの形状)IVランク	59.48	59.55	(コアの形状)Vランク	59.48	59.55	(コアの形状)Vランク	-
260	59.55	59.85	下部に破砕部。上位に変質帯を伴い、岩盤は劣化する。割れ目間隔は3cm以下であり、微細な割れ目を伴い、亀甲状をなす。上部(59.90m付近まで)には、マンガン及び暗緑色鉱物を伴い、酸化汚染は軽微であるのに対して、下部(60.42~60.62m)では割れ目沿いに褐色化がみられ、緑色鉱物脈が付着、挟在する。上下部ともに割れ目沿いの細片が見られる。	59.55	60.85	下部に破砕部。上位に変質帯を伴い、岩盤は劣化する。割れ目間隔は3cm以下であり、微細な割れ目を伴い、亀甲状をなす。上部(59.90m付近まで)には、マンガン及び暗緑色鉱物を伴い、酸化汚染は軽微であるのに対して、下部(60.42~60.62m)では割れ目沿いに褐色化がみられ、緑色鉱物脈が付着、挟在する。上下部ともに割れ目沿いの細片が見られる。	59.55	60.85	59.55~60.85m: 割れ目間隔は3cm以下で、微細な割れ目を伴い、亀甲状を呈する。59.90m付近までは、マンガン及び暗緑色鉱物を伴い、酸化汚染は軽微である。60.42~60.62mでは割れ目沿いに褐色化し、緑色鉱物脈が付着、または挟在する。全体に割れ目沿いの細片が見られる。	上位・下部の変質部、破砕部の記載は別の記事で読み取るため記載しない
261	60.85	150.00	アブライト	-	-	-	60.85	150.00	60.85~150.00m:アブライト	-
262	60.85	61.12	破砕部(主せん断面、0.12m)。上傾40°、下傾43°をなす。境界は明瞭。	60.85	61.12	破砕部(原岩活動面、0.12m)。上傾40°、下傾50°をなす。境界は明瞭。	60.85	61.12	●60.85~61.12m: 破砕部 ●粘土混じり角礫状部(+) 上傾40°、下傾50°でともに直線的に連続。径5~30mmの硬さ(C)の角礫からなる。明黄褐~緑灰色を呈する。	●破砕部、原岩組織が認められる岩片を主体とし、高角状の角礫状部(+) ●粘土混じり角礫状部(+) ●上傾40°、下傾50°でともに直線的に連続。径5~30mmの硬さ(C)の角礫からなる。明黄褐~緑灰色を呈する。
263	60.85	61.11	粘土混じり角礫状破砕部(原岩の組織は残る。硬は硬質(硬さD)、(+相溶)	60.85	61.12	粘土混じり角礫状破砕部(原岩組織が認められる岩片を主体とし、高角状の角礫状部(+)を伴い、硬質(硬さD)、(+相溶)。含まれる相溶部は割れ目状に分布。明黄褐~緑灰色を呈する。	60.85	61.12	●60.85~61.12m: 破砕部 ●粘土混じり角礫状部(+) ●上傾40°、下傾50°でともに直線的に連続。径5~30mmの硬さ(C)の角礫からなる。明黄褐~緑灰色を呈する。	●破砕部、原岩組織が認められる岩片を主体とし、高角状の角礫状部(+)を伴い、硬質(硬さD)、(+相溶)。含まれる相溶部は割れ目状に分布。明黄褐~緑灰色を呈する。
264	60.85	61.12	(色調)明黄褐 (割れ目状態)Bランク (コアの形状)Vランク	60.85	61.12	(色調)明黄褐 (割れ目状態)Bランク (コアの形状)Vランク	60.85	61.12	(色調)明黄褐 (割れ目状態)Bランク (コアの形状)Vランク	-
265	61.12	63.47	傾斜30°~40°及び70°の主な割れ目とこれに斜交する微細な割れ目がみられ、一部亀甲状をなす。主要な割れ目はすべて酸化汚染を受け、褐色を呈する。岩芯には新鮮部がみられる。割れ目沿いに細片化、一部で細粒化する。	-	-	-	61.12	63.47	61.12~63.47m: 傾斜30~40°及び70°の割れ目と、これらに斜交する微細な割れ目が見られ、一部亀甲状を呈する。主要な割れ目はすべて酸化汚染を受け、褐色化する。岩芯には新鮮部が見られる。割れ目沿いに細片化、一部で細粒化する。	-
266	62.97	63.09	割れ目密集し脆弱。下端245°、巾1~2mm。緑白粘土。	62.97	63.09	割れ目密集し脆弱。下端245°、幅1~2mm。緑灰色粘土。	62.97	63.09	62.97~63.09m: 割れ目が密集し脆弱である。下端には傾斜45°で幅1~2mmの緑灰色粘土を挟む。	-

H24-B14-2 63.09~67.00m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	適正化した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
267	63.09	63.47	(コアの形状欄)IVランク	63.09	63.47	(コアの形状欄)Vランク	63.09	63.47	(コアの形状欄)Vランク	-
268	63.09	65.32	(割れ目状態欄)cランク	63.09	65.32	(割れ目状態欄)bランク	63.09	65.32	(割れ目状態欄)bランク	-
269	63.47	64.15	上位と比べて割れ目間隔広く(巾5~10cm)。コアは柱状を呈する。割れ目沿いに細片化が認められるが、コア自体は硬質である。	63.47	64.15	上位と比べて割れ目間隔広く(巾5~10cm)。コアは短柱状を呈する。割れ目沿いに細片化が認められるが、コア自体は硬質である。	63.47	64.15	63.47~64.15m:幅5~10cmの割れ目間隔で上位と比べて広い。割れ目沿いに細片化が認められる。	記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない
270	64.15	64.59	(岩級区分欄)CL	64.15	64.59	(岩級区分欄)CM	64.15	64.59	(岩級区分欄)CM	-
271	64.15	64.82	△40~50°の割れ目が9~10cm間隔で分布し、これらと平行もしくは斜交する潜在(密着)割れ目が発達する。潜在割れ目は容易には分離しないが、コアはハンマーの打撃でやや鈍い音を発する。	-	-	-	64.15	64.82	64.15~64.82m:傾斜40~50°の割れ目が9~10cm間隔で分布し、これらと平行もしくは斜交する潜在割れ目が発達する。潜在割れ目は容易には分離しないが、ハンマーの打撃でやや鈍い音を発する。	-
272	64.26	64.51	上下位と比べて変質が進行する。上端△45°、下端△60°程度で境される。	-	-	-	64.26	64.51	64.26~64.51m:上端45°、下端60°程度で境されて変質が通む。	-
273	64.59	64.82	(コアの形状欄)IVランク	64.59	64.82	(コアの形状欄)Vランク	64.59	64.82	(コアの形状欄)Vランク	-
274	64.82	65.32	△30~45°および△70°の割れ目が9~3cm間隔で発達し、コアは片状(岩片は硬質)を呈する。しばしば低角度割れ目沿いに変質し、白雲母を挟む。	64.82	65.32	△30~45°および△70°の割れ目が9~3cm間隔で発達し、コアは細片状(岩片はやや硬質)を呈する。しばしば低角度割れ目沿いに変質し、白雲母を挟む。	64.82	65.32	64.82~65.32m:傾斜30~45°と70°の割れ目が9~3cm間隔で発達する。低角度割れ目沿いに変質し、白雲母を伴う。	記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない
275	65.32	65.32	フィルム状~巾5mm、△45°、灰白砂泥じり粘土。	65.32	65.32	フィルム状~幅5mm、△45°、灰白色砂泥じり粘土。	65.32	65.32	65.32m:傾斜45°でフィルム状~幅5mmの灰白色砂泥じり粘土を挟む。	-
276	65.32	65.42	(割れ目状態欄)cランク (コアの形状欄)Vランク (コアの硬さ欄)Dランク (実質欄)2ランク	65.32	65.42	(割れ目状態欄)dランク (コアの形状欄)IVランク (コアの硬さ欄)Eランク (実質欄)3ランク	65.32	65.42	(割れ目状態欄)dランク (コアの形状欄)IVランク (コアの硬さ欄)Eランク (実質欄)3ランク	-
277	65.32	65.86	上下位と比べて風化・変質進行し、コアは脆弱化する。割れ目沿いに棕色、細粒化が認められ、あわせてわずかに褐色化する。又、有色鉱物層部も褐色化している。	-	-	-	65.32	65.86	65.32~65.86m:風化・変質し、軟質化する。割れ目沿いに棕色し細粒化する。一部に褐色化も見られる。有色鉱物層部も褐色化する。	-
278	65.67	65.86	コアは岩芯まで変質(棕色)が進行し、灰白~淡黄色を呈する(2.5V/2~7/3)。	-	-	-	65.67	65.86	65.67~65.86m:コア全体が棕色し、灰白~淡黄色を呈する。	-
279	65.85	65.85	巾1mm、△34°、灰白粘土挟在、マンガン濃集を伴う。	65.85	65.85	幅1mm、△34°、灰白色粘土挟在、マンガン濃集を伴う。	65.85	65.85	65.85m:傾斜34°で幅1mmの灰白色粘土を挟み、マンガン濃集を伴う。	-
280	65.86	66.06	不規則に潜在割れ目が発達し、ハンマーの打撃で分離しやすい。	-	-	-	65.86	66.06	65.86~66.06m:不規則に潜在割れ目が発達し、ハンマーの打撃で分離しやすい。	-
281	65.86	66.06	(コアの形状欄)Vランク	65.86	66.06	(コアの形状欄)IVランク	65.86	66.06	(コアの形状欄)IVランク	-
282	65.86	65.35	(岩級区分欄)CL	65.86	65.35	(岩級区分欄)CM	65.86	65.35	(岩級区分欄)CM	-
283	65.86	66.43	(割れ目状態欄)cランク	65.86	66.43	(割れ目状態欄)bランク	65.86	66.43	(割れ目状態欄)bランク	-
284	66.00	67.00	(ROD欄)22	66.00	67.00	(ROD欄)10	66.00	67.00	(ROD欄)10	-

H24-B14-2 66.06~68.63m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	適正化の記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
285	66.06	67.38	66.06	67.38	<p>285 66.06 67.38 230~50°の割れ目が2~15cm間隔でコアは良好であり、それと斜交するように25°以上の高角度割れ目が発達する。</p>	<p>285 66.06 67.38 230~50°の割れ目が2~15cm間隔で分布し、コアは良好である。それと斜交するように25°以上の高角度割れ目が発達する。</p>	66.06	67.38	66.06~67.38m、傾斜30~50°の割れ目が2~15cm間隔で分布し、それと斜交する傾斜45°以上の高角度割れ目が発達する。	-
286	66.06	66.81	66.06	66.81	<p>286 66.06 66.81 66.06~66.81m間では、高角度割れ目の多くは密着している。割れ目、密着割れ目のほとんどで褐色化が認められる。</p>	<p>286 66.06 66.81 66.06~66.81m間では、高角度割れ目の多くは密着している。割れ目、密着割れ目のほとんどで褐色化が認められる。</p>	66.06	66.81	66.06~66.81m、高角度割れ目の多くは密着する。割れ目、密着割れ目のほとんどで褐色化が認められる。	-
287	66.85	68.23	66.85	68.23	<p>287 66.85 68.23 (岩縞区分欄)GL</p>	<p>287 66.85 68.23 (岩縞区分欄)GM</p>	66.85	68.23	(岩縞区分欄)GM	-
288	66.85	67.38	66.85	67.38	<p>288 66.85 67.38 (割れ目状態欄)cランク</p>	<p>288 66.85 67.38 (割れ目状態欄)bランク</p>	66.85	67.38	(割れ目状態欄)bランク	-
289	66.86	66.86	66.86	66.86	<p>289 66.86 66.86 245°の割れ目間(巾15mm)、軟質劣化する。</p>	<p>289 66.86 66.86 245°の割れ目間(巾15mm)、軟質劣化し、軟化する。</p>	66.86	66.86	66.86m、傾斜45°で幅15mmが軟化し、軟質化する。	-
290	66.90	66.90	66.90	66.90	<p>290 66.90 66.90 巾1mm、245°、淡黄褐色砂泥シリシルト挟在。</p>	<p>290 66.90 66.90 幅1mm、245°、淡黄褐色砂泥シリシルト挟在。</p>	66.90	66.90	66.90m、傾斜45°で幅1mmの淡黄褐色砂泥シリシルトを挟む。	-
291	67.38	67.51	67.38	67.51	<p>291 67.38 67.51 風化・変質を強く受け、コアは指圧でほぐせるほど軟質である。上端は235°、下端は220°で壊される。これ以降、上位と比べて風化の影響を強く受ける。</p>	<p>291 67.38 67.51 風化・変質を強く受け、コアは指圧でほぐせるほど軟質である。上端は235°、下端は220°で壊される。これ以降、上位と比べて風化の影響を強く受ける。</p>	67.38	67.51	67.38~67.51m、上端35°、下端20°で囲まれ、風化・変質を強く受け、指圧でほぐせるほど軟質である。	-
292	67.38	67.51	67.38	67.51	<p>292 67.38 67.51 (割れ目状態欄)dランク</p>	<p>292 67.38 67.51 (割れ目状態欄)cランク</p>	67.38	67.51	(割れ目状態欄)cランク	-
293	67.51	68.23	67.51	68.23	<p>293 67.51 68.23 250~70°の割れ目が2~5cm間隔で交錯し、コアは片状を呈する。又、高角度の潜在割れ目も全体に発達する。割れ目沿いに細片化するが、岩片は硬質である。</p>	<p>293 67.51 68.23 250~70°の割れ目が2~5cm間隔で交錯し、コアは片状を呈する。又、高角度の潜在割れ目も全体に発達する。割れ目沿いに細片化するが、岩片はやや硬質である。</p>	67.51	68.23	67.51~68.23m、傾斜50~70°の割れ目が2~5cm間隔で交錯し、細片状を呈する。また、高角度の潜在割れ目も全体に発達する。割れ目沿いに細片化する。	記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
294	67.51	68.23	67.51	68.23	<p>294 67.51 68.23 (割れ目状態欄)cランク (風化欄)γランク</p>	<p>294 67.51 68.23 (割れ目状態欄)bランク (風化欄)γランク</p>	67.51	68.23	(割れ目状態欄)bランク (風化欄)γランク	-
295	68.23	68.63	68.23	68.63	<p>295 68.23 68.63 風化・変質著しく、岩縞縞、割れ目不明瞭となる。上端は250°で壊され、下端はコア昇降により不明。カタレーサイト様(?)の発現。</p>	<p>295 68.23 68.63 風化・変質著しく、岩縞縞、割れ目不明瞭となる。割れ目跡は残る。含まれる硬に定向配列は見られない。上端は250°で壊され、下端はコア昇降により不明。カタレーサイト様(?)の発現。</p>	68.23	68.63	68.23~68.63m、上端50°の割れ目、下端はコアの昇降部で不明であるが、この間、風化・変質が著しい。岩縞縞は不明瞭となるが、割れ目跡は残る。含まれる硬に定向配列は見られない。	-
296	68.23	68.33	68.23	68.33	<p>296 68.23 68.33 網目状に変質粘土分布する(H様)。下端境界は不明瞭である。割れ目跡は残る。</p>	<p>296 68.23 68.33 網目状に変質粘土分布する(H様)。下端境界は不明瞭である。割れ目跡は残る。</p>	68.23	68.33	68.23~68.33m、網目状に変質粘土層が分布する。下端境界は不明瞭である。割れ目跡は残る。	-
297	68.23	68.41	68.23	68.41	<p>297 68.23 68.41 (割れ目状態欄)dランク</p>	<p>297 68.23 68.41 (割れ目状態欄)cランク</p>	68.23	68.41	(割れ目状態欄)cランク	-
298	68.41	68.63	68.41	68.63	<p>298 68.41 68.63 (コアの硬さ欄)Dランク</p>	<p>298 68.41 68.63 (コアの硬さ欄)Eランク</p>	68.41	68.63	(コアの硬さ欄)Eランク	-
299	68.42	68.63	68.42	68.63	<p>299 68.42 68.63 土砂~角礫状を呈する(H様)。マンガン汚染で酸化しているが、硬に定向配列は見られない。</p>	<p>299 68.42 68.63 土砂~角礫状を呈する(H様)。マンガン汚染で酸化しているが、硬に定向配列は見られない。</p>	68.42	68.63	68.42~68.63m、土砂~角礫状を呈する。マンガン汚染で酸化しているが、硬に定向配列は見られない。	-

H24-B14-2 68.48~72.00m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	記事	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			適正化の記事内容		
300	68.48	68.57		-	-		68.48	68.57	68.48~68.57m: コアはオリブ灰色を帯びる。	-
301	68.63	68.77	(割れ目状態欄) e ランク (風化欄) g ランク	68.63	68.77	(割れ目状態欄) h ランク (風化欄) a ランク	68.63	68.77	(割れ目状態欄) h ランク (風化欄) a ランク	-
302	68.63	70.03	Z40~50° 程度の割れ目および同様の潜在割れ目が1~3cm間隔で発達する。割れ目沿いに岩質劣化し、細粒化もしくは細片化する。また、潜在割れ目もハンマーの打撃で分離しやすい。	-	-		68.63	70.03	68.43~70.03m: 傾斜40~50° 程度の割れ目及び潜在割れ目が1~3cm間隔で発達する。割れ目沿いに岩質劣化し、細粒化~細片化する。潜在割れ目はハンマーの打撃で分離しやすい。	-
303	68.93	69.25	68.93~69.00m, 69.19~69.25m間は、上下位と比べて強く風化・変質し、コアは軟質となる。一部は指圧で崩せる。	-	-		68.93	69.25	68.93~69.00m, 69.19~69.25m間は、上下位と比べて強く風化・変質し、コアの一部は指圧で崩せる。	記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
304	69.18	69.22	幅30mm、上端Z50°、下端45° シルト混じり砂礫状を呈する。上下端は巾1mm程度砂混じりシルト状を呈する。	69.18	69.22	幅30mm、上端Z50°、下端45°、明黄褐色のシルト混じり砂礫状を呈する。上下端は幅1mm程度灰色の砂混じりシルト状を呈する。	69.18	69.22	69.18~69.22m: 上端50°、下端45° で幅30mmの明黄褐色のシルト混じり砂礫状を呈する。上下端に幅1mm程度の灰白色砂混じりシルトを伴う。	-
305	69.42	69.42	Z45° 割れ目に巾0.3~1mm変質粘土(緑オリーブ灰) 挟在。白雲母を伴う。	69.42	69.42	Z45° 割れ目に巾0.3~1mm変質粘土(緑オリーブ灰色) 挟在。白雲母を伴う。	69.42	69.42	69.42m, 69.72m, 69.80m: 傾斜40~45° で幅0.3~1mmの緑オリーブ灰色粘土を挟み、白雲母を伴う。	記事内容が同じであるため、69.72m, 69.80mの記事を含めて記載した
306	69.72	69.72	Z40° 割れ目に巾0.3~1mm変質粘土(緑オリーブ灰) 挟在。白雲母を伴う。	69.72	69.72	Z40° 割れ目に巾0.3~1mm変質粘土(緑オリーブ灰色) 挟在。白雲母を伴う。	-	-	-	上記でまとめ書きしたため記載しない
307	69.80	69.80	Z45° 割れ目に巾0.3~1mm変質粘土(緑オリーブ灰) 挟在。白雲母を伴う。	69.80	69.80	Z45° 割れ目に巾0.3~1mm変質粘土(緑オリーブ灰色) 挟在。白雲母を伴う。	-	-	-	上記でまとめ書きしたため記載しない
308	69.96	70.00	Z75° 以上の高角度変質部。指圧で容易に崩せる。全体にマンガンを伴う。	-	-		69.96	70.00	69.96~70.00m: 傾斜75° 以上の高角度変質部で指圧で容易に崩せる。全体にマンガンを伴う。	-
309	70.00	71.00	(RQD欄) 10 (最大コア長欄) 10	70.00	71.00	(RQD欄) 0 (最大コア長欄) 3	70.00	71.00	(RQD欄) 0 (最大コア長欄) 3	-
310	70.03	70.33	(割れ目状態欄) e ランク	70.03	70.33	(割れ目状態欄) e ランク	70.03	70.33	(割れ目状態欄) e ランク	-
311	70.03	70.33	割れ目が多く、それによって割れるため原岩組織は不明瞭となる。全体に灰白色粘土細粒が分布し、コアは軟質となる。一部は指圧で崩せる。(カタクレーサイト~H様を呈する)。	70.03	70.33	割れ目が多く、それによって割れるため原岩組織は不明瞭となる。全体に灰白色粘土細粒が分布し、コアは軟質となる。一部は指圧で崩せる。(カタクレーサイト~H様を呈する)。	70.03	70.33	70.03~70.33m: 割れ目が多く、それによって割れるため原岩組織は不明瞭となる。全体に灰白色粘土細粒が分布し、やや軟質となる。一部は指圧で崩せる。	-
312	70.03	70.14	マンガンが濃集する。	-	-		70.03	70.14	70.03~70.14m: マンガンが濃集する。	-
313	70.16	70.16	Z70°、せん断性割れ目。標が切られている。	70.16	70.16	Z70°、せん断性割れ目。標が切られている。 標は割れ目を横断しており、割れ目には挟在物が認められない。割れ目周辺の組織には原岩組織が認められる。	70.16	70.16	70.16m: 傾斜70° の割れ目を標が横断する。割れ目には挟在物が認められない。割れ目周辺の組織には原岩組織が認められる。	-
314	70.33	70.88	Z40° 程度の割れ目が卓越し、0.5~4cm間隔で発達する。割れ目の密集するところではやや変質が進行するが、コアは概ね細片~短柱状で採取される。岩片は硬質である。	70.33	70.88	Z40° 程度の割れ目が卓越し、0.5~4cm間隔で発達する。割れ目の密集するところではやや変質が進行するが、コアは概ね細片~短柱状で採取される。岩片はやや硬質である。	70.33	70.88	70.33~70.88m: 傾斜40° 程度の割れ目が卓越し、0.5~4cm間隔で発達する。割れ目が密集するところでは変質がやや進む。	記事欄以外から読み取れる硬さやコアの形状の情報は記載しない
315	70.88	71.05	(割れ目状態欄) e ランク	70.88	71.05	(割れ目状態欄) e ランク	70.88	71.05	(割れ目状態欄) e ランク	-
316	70.88	71.05	上位と比べて風化・変質が進行し、コアは軟質化している。	-	-		70.88	71.05	70.88~71.05m: 上位と比べて風化・変質し、軟質化する。	-
317	71.00	72.00	(RQD欄) 11 (最大コア長欄) 11	71.00	72.00	(RQD欄) 0 (最大コア長欄) 7	71.00	72.00	(RQD欄) 0 (最大コア長欄) 7	-

H24-B14-2 70.88~75.91m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
318	70.88	70.93	70.88	70.93						
319	71.05	71.32	71.05	71.32						
320	71.05	71.66	71.05	71.66						
321	71.32	71.79	-	-						
322	71.79	73.17	71.79	73.17						
323	71.79	72.14	71.79	72.14						
324	71.79	72.14	71.79	72.14						
325	72.14	72.14	72.14	72.14						
326	72.14	72.90	-	-						
327	-	-	72.70	73.00						
328	72.90	73.53	72.90	73.53						
329	73.00	73.13	73.00	73.13						
330	73.13	73.13	-	-						
331	73.17	73.53	73.17	73.53						
332	73.53	73.74	-	-						
333	73.74	73.93	73.74	73.93						
334	73.74	75.24	73.74	75.24						
335	73.62	73.63	73.62	73.63						
336	73.74	74.95	73.74	74.95						
337	74.30	74.95	-	-						
338	74.95	75.91	74.95	75.91						

H24-B14-2 75.24~82.03m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
339	75.24	75.91	△40° および△75° 程度の割れ目が発達し、それらと斜交する潜在割れ目が分布する。割れ目および潜在割れ目沿いに岩質劣化し、上下位と比べてやや脆弱である。	-	-	-	75.24	75.91	75.24~75.91m:傾斜40° 及び75° 程度の割れ目が発達し、それらと斜交する潜在割れ目が分布する。割れ目及び潜在割れ目沿いに岩質劣化し、上下位と比べてやや脆弱である。	-
340	75.35	75.35	75.35m付近、△35° の割れ目に沿って幅8~20mm 岩質劣化し、土砂状を呈する。コア採取時細粒分を一部流失する。	75.35	75.35	75.35m付近、△35° の割れ目に沿って幅8~20mm 岩質劣化し、土砂状を呈する。コア採取時細粒分を一部流失する。	75.35	75.35	75.35m:傾斜35° の割れ目沿いに幅8~20mmが土砂状を呈する。コア採取時に細粒分を一部流失する。	-
341	75.50	76.27	(割れ目状態欄)αランク	75.50	76.27	(割れ目状態欄)βランク	75.50	76.27	(割れ目状態欄)βランク	-
342	75.91	77.91	△40~60° の割れ目が5~20cm間隔で発達する。割れ目沿いに黄鉄鉱(褐色)を呈し、割れ目面は白雲母を伴い、オリーブ灰色を呈する。わずかに黄鉄鉱付着する。コアは硬質で短柱・柱状を呈する。	-	-	-	75.91	77.91	75.91~77.91m:傾斜40~60° の割れ目が5~20cm間隔で分布し、割れ目沿いに棕色を呈する。割れ目面はオリーブ灰色を呈し、白雲母を伴う。わずかに黄鉄鉱も付着する。	記事欄以外から読み取れる硬さ、コアの形状の情報は記載しない
343	76.27	-	76.27m以降、潜在割れ目は少なくなる。	-	-	-	76.27	-	76.27m以降は、潜在割れ目が少なくなる。	-
344	-	-	-	76.65	76.65	傾斜50°、幅3~5mmの石英脈を挟む。	76.65	76.65	76.65m:傾斜50° で幅3~5mmの石英脈を挟む。	-
345	77.00	77.91	割れ目間隔広くなり、コアは長柱状を呈する。	-	-	-	-	-	-	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
346	77.17	77.91	(コアの形状欄)Ⅲランク	77.17	77.91	(コアの形状欄)Ⅱランク	77.17	77.91	(コアの形状欄)Ⅱランク	-
347	77.38	77.38	△40° 割れ目面に黄鉄鉱が濃集する。	-	-	-	77.38	77.38	77.38m:傾斜40° の割れ目に黄鉄鉱が濃集して晶出する。	-
348	77.91	78.32	(割れ目状態欄)αランク	77.91	78.32	(割れ目状態欄)βランク	77.91	78.32	(割れ目状態欄)βランク	-
349	77.91	78.79	(風化欄)γランク	77.91	78.79	(風化欄)βランク	77.91	78.79	(風化欄)βランク	-
350	77.91	78.25	△40~60° および不規則な高角度割れ目が発達し、コアは片状を呈する。割れ目沿いに細片化や脱色が認められるが、薄片は硬質。	77.91	78.25	△40~60° および不規則な高角度割れ目が発達し、コアは細片状を呈する。割れ目沿いに細片化や脱色が認められるが、薄片は硬質。	77.91	78.25	77.91~78.25m:傾斜40~60° の他、不規則な高角度割れ目が発達し、細片状を呈する。割れ目沿いに細片化や脱色が認められる。	記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
351	78.25	79.14	△20~40° の割れ目が2~10cm間隔で発達し、コアは片・短柱状を呈する。割れ目面は褐色化もしくは緑灰色化し、多くの割れ目に白雲母を伴う。割れ目沿いに細粒化し(一部流失する)。割れ目のかみ合せ悪い。	78.25	79.14	△20~40° の割れ目が2~10cm間隔で発達し、コアは細片・短柱状を呈する。割れ目面は褐色化もしくは緑灰色化し、多くの割れ目に白雲母を伴う。割れ目沿いに細粒化し(一部流失する)。割れ目のかみ合せ悪い。	78.25	79.14	78.25~79.14m:傾斜20~40° の割れ目が2~10cm間隔で発達する。割れ目面は褐色化もしくは緑灰色化し、多くの割れ目に白雲母を伴う。割れ目沿いに細粒化し、一部流失しているため割れ目のかみ合せが悪い。	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
352	78.44	78.61	割れ目交錯し、コアは片状を主とする。	78.44	78.61	割れ目交錯し、コアは細片状を主とする。	-	-	-	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
353	79.14	79.79	△40~50° の割れ目が1~3cm間隔で発達し、コアは片状を主とする。割れ目沿いに脱色・細粒化が進行する。コア採取時に細粒物を流失している。	79.14	79.79	△40~50° の割れ目が1~3cm間隔で発達し、コアは細片状を主とする。割れ目沿いに脱色・細粒化が進行する。コア採取時に細粒物を流失している。	79.14	79.79	79.14~79.79m:傾斜40~50° の割れ目が1~3cm間隔で発達する。割れ目沿いに脱色・細粒化が進行し、コア採取時に細粒物を流失する。	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
354	79.42	79.42	巾5~10mm、△20°、灰色帯、石英の粒からなる。	79.42	79.42	幅5~10mm、△20°、灰色の石英脈を挟む。	79.42	79.42	79.42m:傾斜20° で幅5~10mmの灰色の石英脈を挟む。	-
355	79.64	79.79	上下位に比べて黄鉄を強く含み、コアは軟質となっている。又、割れ目沿いの褐色化が目立つ。	-	-	-	79.64	79.79	79.64~79.79m:割れ目沿いの褐色化が目立つ。	記事欄以外から読み取れる硬さや変質の情報は記載しない
356	79.77	79.77	巾8mm、△40°、灰白~暗褐色を呈するシルト質砂状を呈する。硬質。	79.77	79.77	幅8mm、△40°、灰白~暗褐色を呈し、シルト質砂状を呈する。硬質。	79.77	79.77	79.77m:傾斜40°、幅8mmで灰白~暗褐色のシルト質砂状に変質するが、硬質である。	-
357	79.79	79.79	巾10mm、△40°	79.77	79.79	巾10mm、△40°	-	-	-	-
358	79.79	82.03	(割れ目状態欄)αランク	79.79	82.03	(割れ目状態欄)βランク	79.79	82.03	(割れ目状態欄)βランク	-

H24-B14-2 79.79~85.14m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	記事内容		
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>						
359	79.79	82.11	∠40~50°の割れ目が9~8cm間隔で発達し、コアは短柱状を主とする。割れ目面の一部はオリブ灰色を呈し、白雲母を伴う。割れ目沿いに脱色が認められるが、岩質は硬質である。	-	-	-	-	79.79~82.13m:傾斜40~50°の割れ目が9~8cm間隔で分布する。割れ目面の一部はオリブ灰色を呈し、白雲母を伴う。割れ目沿いに脱色する。	-	記事欄以外から読み取れる径さやコアの形状の情報は記載しない	
360	80.00	82.03	(風化帯)γランク	80.00	82.03	(風化帯)βランク	-	80.00	82.03	(風化帯)βランク	-
361	80.63	81.47	∠70°以上の高角割れ目が発達する。割れ目面凹凸し、風化・実質、挟在物は認められない。	-	-	-	-	80.63	81.47	80.63~81.47m:傾斜70°以上の高角割れ目が発達する。割れ目面は凹凸し、風化・実質、挟在物は認められない。	-
362	81.25	81.25	∠40°、巾1~2mm、黄鉄鉱が割れ目に付着する。	81.25	81.25	∠40°、幅1~2mm、黄鉄鉱が割れ目に付着する。	-	81.25	81.25	81.25m:傾斜40°の割れ目に幅1~2mmで黄鉄鉱が付着する。	-
363	81.40	81.76	∠30~50°の割れ目が交錯し、コアは片状を呈する。割れ目沿いに細片化し、コアのかみ合せ悪い。(コア異状による?)	81.40	81.76	∠30~50°の割れ目が交錯し、コアは一部細片状を呈する。割れ目沿いに細片化し、コアのかみ合せ悪い。(コア異状による?)	-	81.40	81.76	81.40~81.76m:傾斜30~50°の割れ目が交錯し、コアは一部細片状を呈する。割れ目沿いに細片化し、コアのかみ合せが悪い。	-
364	-	-	-	81.60	81.60	傾斜50°、幅2~5mmの石英脈を挟む	-	81.60	81.60	81.60m:傾斜50°で幅2~5mmの石英脈を挟む。	-
365	-	-	-	81.99	81.99	傾斜45°、幅1mmの石英脈を挟む	-	81.99	81.99	81.99m:傾斜45°で幅1mmの石英脈を挟む。	-
366	82.13	82.72	(コアの形状欄)Ⅲランク	82.13	82.72	(コアの形状欄)Ⅱランク	-	82.13	82.72	(コアの形状欄)Ⅱランク	-
367	82.13	83.59	上位と比べて割れ目(∠40~50°)間隔広くなり(10~20cm程度)、コアは柱状を主とする。割れ目面は緑白~オリブ灰色を呈し、白雲母、黄鉄鉱の付着が認められる。また、割れ目沿いおよび潜在割れ目沿いに脱色が認められる。	82.13	83.59	上位と比べて割れ目(∠40~50°)間隔広くなり(10~20cm程度)、コアは柱状を主とする。割れ目面は緑白~オリブ灰色を呈し、白雲母、黄鉄鉱の付着が認められる。また、割れ目沿いおよび潜在割れ目沿いに脱色が認められる。	-	82.13	83.59	82.13~83.59m:上位と比べて割れ目が少ない。傾斜40~50°の割れ目が分布する。割れ目面は緑白~オリブ灰色を呈し、白雲母、黄鉄鉱の付着が認められる。割れ目及び潜在割れ目沿いに脱色する。	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
368	-	-	-	82.33	82.33	傾斜40°、幅2mmの石英脈を挟む	-	82.33	82.33	82.33m:傾斜40°で幅1~2mmの石英脈を挟む。	記事内容が同じであるため、82.36mの記事をきめて記載した
369	-	-	-	82.36	82.36	傾斜40°、幅1~2mmの石英脈を挟む	-	-	-	-	上記でまとめて書きためたため記載しない
370	82.88	83.03	∠30~40°の割れ目が密集し、割れ目沿いの一部で細片化する。又、白雲母、黄鉄鉱の付着が目立つ。	-	-	-	-	82.88	83.03	82.88~83.03m:傾斜30~40°の割れ目が密集し、割れ目沿いの一部で細片化する。白雲母、黄鉄鉱の付着が目立つ。	-
371	82.88	83.03	(割れ目状態欄)cランク	82.88	83.03	(割れ目状態欄)bランク	-	82.88	83.03	(割れ目状態欄)bランク	-
372	83.03	83.59	(コアの形状欄)Ⅲランク	83.03	83.59	(コアの形状欄)Ⅱランク	-	83.03	83.59	(コアの形状欄)Ⅱランク	-
373	83.59	83.88	(コアの形状欄)Vランク (割れ目状態欄)cランク	83.59	83.88	(コアの形状欄)IVランク (割れ目状態欄)bランク	-	83.59	83.88	(コアの形状欄)IVランク (割れ目状態欄)bランク	-
374	83.59	83.88	∠30~50°の割れ目が4~10cm間隔で発達し、不規則な高角潜在割れ目が分布する。上位と同様に割れ目沿いの脱色が認められるが、より明確に認識できる。	-	-	-	-	83.59	83.88	83.59~83.88m:傾斜30~50°の割れ目が4~10cm間隔で発達し、不規則な高角度の潜在割れ目が分布する。上位と同様に割れ目沿いの脱色が認められるが、より明確に認識できる。	-
375	83.88	84.54	∠45°程度の割れ目が10~20cm間隔で発達し、コアは柱状を呈する。コアは硬質である。	-	-	-	-	83.88	84.54	83.88~84.54m:上位より割れ目が少なく、傾斜45°の割れ目を主とする。	記事欄以外から読み取れる径さやコアの形状の情報は記載しない
376	84.16	84.45	84.16~84.45mには、∠70°以上の高角割れ目が認められるが、連続性悪く消失する。	84.16	84.45	84.16~84.45mには、∠70°以上の高角割れ目が認められるが、連続性悪い。消失する。	-	84.16	84.45	84.16~84.45m:傾斜70°以上の高角割れ目が認められるが、連続性が悪い。	-
377	84.54	84.54	∠45°割れ目面に産生鉱物(石英?)の微晶が晶出する。	84.54	84.54	∠45°割れ目面に柱状の産生鉱物(石英?)の微晶が晶出する。	-	84.54	84.54	84.54m:傾斜45°の割れ目面に柱状の石英の微晶が晶出する。	-
378	84.54	84.83	(風化帯)γランク (割れ目状態欄)cランク	84.54	84.83	(風化帯)βランク (割れ目状態欄)bランク	-	84.54	84.83	(風化帯)βランク (割れ目状態欄)bランク	-
379	84.54	84.83	割れ目間隔狭くなり、割れ目沿いの岩質劣化(細片、細粒化)が目立つ。	-	-	-	-	84.54	85.14	84.54~85.14m:割れ目が多くなり、割れ目沿いに細片~細粒化する。	-

H24-B14-2 84.83~94.10m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
380	82.83	82.83	∠40° 割れ目にフィルム～巾1mm方解石細脈伴う。	84.83	84.83	∠40° 割れ目にフィルム～幅1mm方解石細脈伴う。	84.83	84.83	8483m: 傾斜40° の割れ目にフィルム～幅1mmの方解石脈を伴う。	-
361	84.83	85.06	割れ目間隔1～2cm程度と密になり、上下位と比べて実質進行し、コアはやや軟質となる。	-	-	-	84.83	85.06	8483～85.06m: 割れ目間隔1～2cm程度と密になり、上下位と比べて実質が進み、やや軟質となる。	-
362	-	-	-	84.91	84.94	傾斜45°、幅25mm程度で実質が進み、灰白色粘土が網目状に分布する。	84.91	84.94	8491～84.94m: 傾斜45° で幅25mm程度で実質が進み、灰白色粘土が網目状に分布する。	-
383	85.06	89.74	∠30～40° の割れ目が5～30cm間隔で発達し、コアは柱状を主とする。	85.06	89.74	∠30～40° の割れ目が5～30cm間隔で発達し、コアは長柱状を主とする。	85.06	89.74	8506～89.74m: 傾斜30～40° の割れ目が5～30cm間隔で分布し、長柱状を主体とする。	-
384	85.14	85.82	(コアの形状欄) IIランク (コアの形状欄) IIIランク	85.14	85.82	(コアの形状欄) IIランク (コアの形状欄) IIIランク	85.14	85.82	(コアの形状欄) IIランク (コアの形状欄) IIIランク	-
385	85.14	85.64	割れ目面の変質は認められない。	-	-	-	85.14	85.64	8514～85.64m: 割れ目面の変質は認められない。	-
386	85.28	85.28	巾1.5mm、∠35°、石英脈	85.28	85.28	幅1.5mm、∠35°、石英脈を挟む	85.28	85.28	8528m: 傾斜35° で幅1.5mmの石英脈を挟む。	-
387	85.59	86.28	∠60～70° の密着割れ目が発達し、それに沿って脱色する。一部は開口し、細片化を伴う。	-	-	-	85.59	86.28	8559～86.28m: 傾斜60～70° の密着割れ目が発達し、それに沿って脱色する。一部は開口し、細片化を伴う。	-
388	85.82	88.31	(岩鏡区分欄) CM	85.82	88.31	(岩鏡区分欄) CH	85.82	88.31	(岩鏡区分欄) CH	-
389	85.96	88.31	(割れ目状態欄) aランク	85.96	88.31	(割れ目状態欄) bランク	85.96	88.31	(割れ目状態欄) bランク	-
390	85.96	87.52	高角度(∠80°以上)で湾曲する割れ目が複数分布する。割れ目沿いに細片・細粒化し、86.58～87.00mは、岩質劣化部を伴う。	-	-	-	85.96	87.52	8596～87.52m: 傾斜80°以上で湾曲する割れ目が複数分布する。割れ目沿いに細片化～細粒化する。86.58～87.00m間は岩質劣化部を伴う。	-
391	86.27	87.61	(コアの形状欄) IIIランク	86.27	87.61	(コアの形状欄) IIランク	86.27	87.61	(コアの形状欄) IIランク	-
392	86.50	86.58	また、86.50～86.58m間は、割れ目面に柱状の延貨鉱物(石英)が晶出する。	-	-	-	86.50	86.58	8650～86.58m: 高角度割れ目面に柱状の石英が晶出する。	-
393	87.61	-	87.61m以深、∠40～60° の割れ目が多くなる。	-	-	-	87.61	-	87.61m以深、傾斜40～60° の割れ目が多くなる。	-
394	87.61	88.31	∠40～60° の割れ目および潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリーブ灰色を帯びる。	-	-	-	87.61	88.31	8761～88.31m: 傾斜40～60° の割れ目や潜在割れ目が分布し、それらに沿って脱色する。割れ目面はオリーブ灰色を帯びる。	-
395	87.73	88.31	(コアの形状欄) IVランク	87.73	88.31	(コアの形状欄) IIIランク	87.73	88.31	(コアの形状欄) IIIランク	-
396	87.73	87.73	∠40° 割れ目に黄鉄鉱が認められる。	-	-	-	87.73	87.73	8773m: 傾斜40° の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	-
397	88.22	88.22	∠43° 割れ目は暗オリーブ灰色化し、柱状の石英を晶出する。	-	-	-	88.22	88.22	8822m: 傾斜43° の割れ目は暗オリーブ灰色を呈し、柱状の石英が晶出する。	-
398	88.22	88.30	微細な有色鉱物を多く含む。コアは暗色を帯びる。	-	-	-	88.22	88.30	8822～88.30m: 微細な有色鉱物を多く含む。コアは暗色を帯びる。	-
399	88.31	88.75	(コアの形状欄) IIIランク	88.31	88.75	(コアの形状欄) IIランク	88.31	88.75	(コアの形状欄) IIランク	-
400	88.90	89.09	∠45° 程度の割れ目が0.5～1cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められるが、実質は硬質である。	-	-	-	88.90	89.09	8890～89.09m: 傾斜45° 程度の割れ目が0.5～1cm間隔で発達し、一部割れ目沿いに細片化する。わずかに脱色が認められる。	-記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
401	88.90	89.74	(岩鏡区分欄) CM	88.90	89.74	(岩鏡区分欄) CH	88.90	89.74	(岩鏡区分欄) CH	-
402	88.90	94.10	(割れ目状態欄) cランク	88.90	94.10	(割れ目状態欄) bランク	88.90	94.10	(割れ目状態欄) bランク	-

H24-B14-2 89.09~94.24m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
403	89.09	89.41	(コアの形状欄)IIランク	89.09	89.41	(コアの形状欄)IIランク			(コアの形状欄)IIランク	-
404	89.09	89.09	∠43° 割れ目は緑灰色化し、石英粒(φ0.3~0.5mm)が晶出する。	-	-	-	89.09	89.55	89.09m、89.42m、89.55m 傾斜43~50°の割れ目に径0.3~0.5mmの石英が晶出する。割れ目は緑灰色化する。	記事内容がほぼ同じであるため、89.42m、89.55mの記事を含めて記載した
405	89.42	89.42	∠50° 割れ目に石英晶出する。	-	-	-	-	-	-	上記でまとめ書きしたため記載しない
406	89.55	89.55	∠46° 割れ目に石英晶出する。	-	-	-	-	-	-	上記でまとめ書きしたため記載しない
407	89.55	89.74	(コアの形状欄)IIランク	88.55	89.74	(コアの形状欄)IIランク			(コアの形状欄)IIランク	-
408	89.74	92.63	(コアの硬さ欄)Bランク	89.74	92.63	(コアの硬さ欄)Bランク			(コアの硬さ欄)Bランク	-
409	89.74	92.63	(風化欄)γランク (岩級区分欄)CL	89.74	92.63	(風化欄)βランク (岩級区分欄)CM			(風化欄)βランク (岩級区分欄)CM	-
410	89.74	-	∠35~55°の割れ目が2~6cm間隔で発達し、コアは片状を呈する。 (コアの形状欄)Vランク	89.74	90.56	∠35~55°の割れ目が2~6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。 (コアの形状欄)IVランク			89.74~90.56m 傾斜35~55°の割れ目が2~6cm間隔で発達し、コアは一部で細片状を呈する。 (コアの形状欄)IVランク	-
411	90.08	90.56	中角度の割れ目が多く、主に岩片状~塊状で採取される。	90.08	90.56	45°程度の中角度の割れ目が多く、主に岩片状~塊状で採取される。			90.08~90.56m 傾斜45°程度の割れ目が多く、岩片状を呈する。	-
412	90.08	90.56	-	90.08	90.56	傾斜45°、幅3~8mmの石英脈を挟む。			90.44m 傾斜45°で幅3~8mmの石英脈を挟む。	-
413	-	-	-	90.44	90.44	-			90.44m 傾斜45°で幅3~8mmの石英脈を挟む。	-
414	91.08	91.13	細かい割れ目が発達し、貫貫も認められ、細塊状で採取される。	-	-	-			91.08~91.13m 細かい割れ目が発達し、貫貫も認められ、細塊状を呈する。	-
415	91.13	91.13	∠40°の割れ目に黄鉄鉱晶出。	-	-	-			91.13m 傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	-
416	91.48	91.63	(コアの形状欄)Vランク	91.48	91.63	(コアの形状欄)IVランク			(コアの形状欄)IVランク	-
417	91.48	91.63	中角度の割れ目が多く、主に岩片状~塊状で採取される。	91.48	91.63	10~50°の割れ目が多く、主に岩片状~塊状で採取される。			91.48~91.63m 傾斜10~50°の割れ目が多く、主に岩片状~塊状を呈する。	-
418	-	-	-	91.53	93.00	傾斜95~90°、幅5~10mmの石英脈が連続して分布する。			91.53~93.00m 傾斜95~90°で幅5~10mmの石英脈が連続して分布する。	-
419	92.13	92.13	∠40°の割れ目の一部に黄鉄鉱晶出。	-	-	-			92.13m 傾斜40°の割れ目の一部に黄鉄鉱が晶出する。	-
420	92.63	93.58	割れ目間隔が10cm以上となり、コアは柱状。	92.63	92.99	割れ目間隔が10cm以上となり、コアは柱状。			-	記事欄以外から読み取れるコアの形状の情報は記載しない
421	93.58	94.10	(コアの硬さ欄)Cランク (岩級区分欄)CL	93.58	94.10	(コアの硬さ欄)Bランク (岩級区分欄)CM			(コアの硬さ欄)Bランク (岩級区分欄)CM	-
422	93.84	93.84	∠40°の割れ目に黄鉄鉱晶出。	-	-	-			93.84m 傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	-
423	94.00	94.10	(コアの形状欄)Vランク	94.00	94.10	(コアの形状欄)IVランク			(コアの形状欄)IVランク	-
424	94.00	94.63	低~中角度の割れ目が多く、岩片状~塊状コアで採取される。	94.10	94.63	10~45°程度の割れ目が多く、岩片状~塊状コアで採取される。			94.10~94.63m 傾斜10~45°程度の割れ目が多く、岩片状~塊状を呈する。	-
425	94.24	94.24	∠45°の割れ目に厚さ1~2mmの灰白色砂質粘土を介在する。	94.24	94.24	∠45°の割れ目に厚さ1~2mmの灰白色砂質粘土を挟む。			94.24m 傾斜45°で幅1~2mmの灰白色砂質粘土を挟む。	-

H24-B14-2 94.34~99.94m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事 コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示) 追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>		上端深度	下端深度	選定した記事内容		
426	94.34	94.34	426	94.34	94.34	426	94.34	94.37	94.34m、94.37m:傾斜40°の割れ目に黄鉄鉱が晶出する。	*記事内容が同じであるため、94.37mの記事を含めて掲載した	
427	94.37	94.37	427	94.37	94.37	427	94.37	-	-	*上記でまとめて書きためたため記載しない	
428	94.63	95.07	428	94.63	95.07	428	94.63	95.07	(割れ目状態欄)αランク (コアの硬さ欄)Cランク	(割れ目状態欄)βランク (コアの硬さ欄)Bランク	-
429	94.63	96.44	429	94.63	96.44	429	94.63	96.44	(風化欄)γランク	(風化欄)βランク	-
430	95.00	96.97	430	95.00	96.97	430	95.00	96.97	中角度の割れ目が多く、岩片状~礫状で採取される。	10~50°の割れ目が多く、岩片状~礫状で採取される。	-
431	95.07	96.03	431	95.07	96.03	431	95.07	96.03	細かい割れ目が発達し、細礫状で採取される。	-	-
432	95.34	95.43	432	95.34	95.43	432	95.34	95.43	ほぼ鉛直な割れ目に厚さ1mmの灰白色粘土介在。	ほぼ鉛直な割れ目に厚さ1mmの灰白色粘土 検在。	*表現の適正化(検在)
433	95.36	95.36	433	95.36	95.36	433	95.36	95.36	中角度の割れ目が発達し、主に礫状で採取される。	45°程度の割れ目が発達し、主に礫状で採取される。	*中角度を具体的な数値に変更した。
434	96.38	96.54	434	96.38	96.54	434	96.38	96.54	実質が認められ、やや軟質である。	-	-
435	96.44	96.64	435	96.44	96.64	435	96.44	96.64	細かい割れ目が発達し、主に細礫状で採取される。	-	-
436	96.54	96.64	436	96.54	96.64	436	96.54	96.64	実質が認められ、やや軟質である。	-	-
437	96.80	96.97	437	96.80	96.97	437	96.80	96.97	(割れ目状態欄)αランク	(割れ目状態欄)βランク	-
438	96.97	97.06	438	96.97	97.06	438	96.97	97.06	(岩級区分欄)GM	(岩級区分欄)CH	*上記の変更に伴い、岩級を変更した
439	96.97	97.50	439	96.97	97.50	439	96.97	97.50	(割れ目状態欄)αランク	(割れ目状態欄)βランク	-
440	97.06	100.40	440	97.06	100.40	440	97.06	100.40	中~高角度の割れ目が多く、主に岩片状~礫状で採取される。	45~70°の割れ目が多く、主に岩片状~礫状で採取される。	*中~高角度を具体的な数値に変更した。
441	97.50	98.09	441	97.50	98.09	441	97.50	98.09	(コアの硬さ欄)Cランク	(コアの硬さ欄)Bランク	*コアは硬質であるためコアの硬さのランクをBランクに変更した
442	97.60	98.08	442	97.60	98.08	442	97.60	98.08	細かい割れ目が発達し、細礫状で採取される。	-	-
443	97.83	97.86	443	97.83	97.86	443	97.83	97.86	不規則な割れ目が多く、主に岩片状~礫状で採取される。	-	-
444	98.28	100.40	444	98.28	100.40	444	98.28	100.40	(コアの硬さ欄)Cランク	(コアの硬さ欄)Bランク	*コアは硬質であるためコアの硬さのランクをBランクに変更した
445	98.28	100.40	445	98.28	100.40	445	98.28	100.40	(コアの硬さ欄)Cランク	(コアの硬さ欄)Bランク	-
446	98.84	98.94	446	98.84	98.94	446	98.84	98.94	(コアの形状欄)Ⅳランク	(コアの形状欄)Ⅳランク	*周囲に比べて割れ目が少ないためコアの形状のランクをⅣランクに変更した
447	99.61	99.66	447	99.61	99.66	447	99.61	99.66	細かい割れ目が多く、実質が認められ、やや軟質である。	-	-
448	-	-	448	99.94	99.94	448	99.94	99.94	傾斜25°で幅5mmで橙色のかり長石が脈状に分布する。	傾斜25°で幅5mmの橙色のかり長石が脈状に分布する。	-

H24-B14-2 100.40~104.61m

コア観察カード			適正化すべき記事内容			記事を削除・変更・追記した理由	報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)		上端深度	下端深度	記事	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			通知変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			適正化した記事内容		
449	100.40	100.52	細かい割れ目が発達し、変質を受け、やや軟質で、塵状～土砂状で採取される。	-	-	-	100.40	100.52	100.40~100.52m: 細かい割れ目が発達し、変質を受け、やや軟質で、塵状～土砂状を呈する。	-
450	100.52	100.75	(割れ目状態欄)Cランク (コアの硬さ欄)Cランク	100.52	100.75	(割れ目状態欄)Bランク (コアの硬さ欄)Bランク	100.52	100.75	(割れ目状態欄)Bランク (コアの硬さ欄)Bランク	-
451	100.75	101.03	変質が明瞭で、やや軟質である。	-	-	-	100.75	101.03	100.75~101.03m: 変質が明瞭で、やや軟質である。	-
452	100.90	101.03	細かい割れ目が発達し、土砂に近い状態で採取される。	-	-	-	100.90	101.03	100.90~101.03m: 細かい割れ目が発達し、ほぼ土砂状を呈する。	-
453	101.03	101.47	(割れ目状態欄)Cランク	101.03	101.47	(割れ目状態欄)Bランク	101.03	101.47	(割れ目状態欄)Bランク	-
454	101.47	101.52	破砕帯	101.47	101.52	破砕帯 最新活動面は101.50m	101.47	101.52	●101.47~101.52m: 破砕帯 101.47~101.50m: 粘土質砂状部(Hb) 傾斜25°で直線的に連続。下端に灰白色のフィルム状粘土を伴う。径2~5mmの岩片を含む。変質が進み、灰白色を呈する。幅30mm。 101.50~101.52m: 粘土質しり砂状部(H) 上端25°、下端20°で直線的に連続。径20mm以下の岩片主体。灰白~明褐色を呈する。幅20mm。	-
455	101.47	101.50	破砕を受け、変質も著しく、灰白色粘土質砂状を呈する。∠25°、(Hb)。	101.47	101.50	破砕を受け、変質も著しく、灰白色粘土質砂状を呈する。∠25°で直線的に連続。(Hb)。径2~5mmの岩片を含む。やや硬質。含まれる細粒部は割目状に分布。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織が見られる。幅30mm。	101.47	101.50	●傾。硬軟。境界面及び細粒部の連続性・直線性。破砕前中の岩片。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織について追記した	-
456	-	-	-	101.50	101.50	灰白色のフィルム状粘土を伴う。直線性が強い。	101.47	101.52	・挟む岩片について追記した	-
457	101.50	101.52	粘土混じり砂状(Hb)	101.50	101.52	粘土混じり砂状(Hb) 上端25°、下端20°で直線的に連続。 硬質で、径20mm以下の岩片主体。含まれる細粒部は局所的に分布し、原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織が見られる。灰白~明褐色を呈する。幅20mm。	101.50	101.52	・破砕部内物質。上端下端境界。幅。色調。細粒部の連続性・直線性。原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織について追記した	-
458	101.52	102.09	(割れ目状態欄)Cランク (コアの硬さ欄)Cランク	101.52	102.09	(割れ目状態欄)Bランク (コアの硬さ欄)Bランク	101.52	102.09	(割れ目状態欄)Bランク (コアの硬さ欄)Bランク	-
459	-	-	-	102.11	103.92	径1~3cm程度のカリ長石の大型斑晶が目立つ。	102.11	103.92	・カリ長石の大型斑晶は断面と異なる状況であるため追記した	-
460	102.55	102.94	中角度の割れ目が多く、岩片状~細粒状で採取される。	102.55	102.94	10~50°の割れ目が多く、岩片状~細粒状で採取される。	102.55	102.94	・中角度を具体的な数値に変更した	-
461	102.94	103.11	(割れ目状態欄)Dランク (コアの形状欄)Vランク	102.94	103.11	(割れ目状態欄)Cランク (コアの形状欄)Vランク	102.94	103.11	(割れ目状態欄)Cランク (コアの形状欄)Vランク	-
462	102.94	103.11	細かい割れ目が発達し、変質も明瞭で、塵状～土砂状で採取される。一部灰白色粘土が隙状に混在する。	102.94	103.11	細かい割れ目が発達し、緑色変質も明瞭で、塵状～土砂状で採取される。一部灰白色粘土が隙状に混在する。	102.94	103.11	・変質の色調を追記した	-
463	-	-	-	103.11	103.53	径0.5~10mm程度の灰色の長石の斑晶が目立つ。	103.11	103.53	・長石の斑晶は断面と異なる状況であるため追記した	-
464	103.11	103.93	(割れ目状態欄)Cランク	103.11	103.93	(割れ目状態欄)Bランク	103.11	103.93	(割れ目状態欄)Bランク	-
465	103.11	103.93	中角度の割れ目が多く、低角度の潜在割れ目が発達する。全体に弱い変質を受けている。	103.11	103.93	20~60°の割れ目が多く、5~10°の潜在割れ目が発達する。全体に弱い変質を受けている。	103.11	103.93	・中角度。低角度を具体的な数値に変更した	-
466	-	-	潜在割れ目もなく、柱状コアを主とする。	103.93	104.61	潜在割れ目も少なく、短柱状コアを主とする。	103.93	104.61	・柱状コアの区間深度を追記した ・傾記の修正(なく⇒少なく) ・コアに合わせてコア形状を変更した	-
467	104.44	105.54	中角度の割れ目が多く、主に岩片状で採取される。	104.44	105.54	10~50°の割れ目が多く、主に岩片状で採取される。	104.44	105.54	・中角度を具体的な数値に変更した	-
468	104.44	104.61	(コアの形状欄)Vランク (岩級区分欄)CL	104.44	104.61	(コアの形状欄)IVランク (岩級区分欄)CM	104.44	104.61	(コアの形状欄)IVランク (岩級区分欄)CM	-